

会長のページ ウィズコロナ アフターコロナ	河野 雅行	3
日州医談 かかりつけ医は、国民皆保険制度の根幹	金丸 吉昌	4
随 筆 フト思い出す心に残した一言	宝珠山 弘	6
エコー・リレー (572)	山脇 清一, 三好 良英	8
メディアの目 「Check!」放送開始2年を振り返って	藺田 康人	9
身近なお困りごと相談室	高山 桂	10
宮崎大学医学部だより (解剖学講座－超微形態科学分野－)		
.....	澤口 朗	16
部会だより (労災部会)	佐藤 信博	17
診療メモ 皮膚科外用薬について	加嶋 亜紀	52
宮大医学部学生のページ		
医師国家試験と国試対策委員会の活動	阿萬 樹生	54

ベストセラー	6
あなたできますか? (令和3年度医師国家試験問題より)	7
表彰・祝賀	11
宮崎県感染症発生動向	12
各郡市医師会だより	14
宮崎県医師会創立134周年記念医学会・県民健康セミナー	18
各種委員会 (救急災害医療対策委員会)	20
九州医師会連合会第405回常任委員会	22
日医インターネットニュースから	24
医師国保組合だより	26
追悼のことば	31
会員の異動・変更報告	32
理 事 会 日 誌	34
県 医 の 動 き	40
ドクターバンク情報	41
行 事 予 定	47
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	49
あ と が き	62

お知らせ 第24回宮崎県医師会医家芸術展作品募集!	19
宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化	
予防の取組みに係る医療機関対象調査について	21
医療事故調査制度相談窓口	23
宮崎県医師会諸会費について	28
医師年金ご加入のすすめ	30
宮崎県医師会メーリングリストのご案内	38
医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください!	39
日州医事へのご意見・ご感想	45
郡市医師会への送付文書	56
医療勤務環境改善支援センター	60
日州医事原稿募集のお知らせ	61

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

桜 映 え

春爛漫。入郷の山ふところに、杉の木立に埋もれた一本の山桜を見出した。香りや、風のそよぎ、小鳥のさえずりなどはカットされているが、目だって明るい一群の桜花が目にしみた。その一郭は静謐そのものだ。今、DVDで山桜（藤沢周平）を見、桜守（水上勉）の本を手にし、CDでさくら（森山直太朗）を聴いている。

延岡市 なが長 ぬま沼 こうざぶろう弘三郎

会長のページ

ウィズコロナ アフターコロナ

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

新型コロナが発生してから3年有余となりました。当初は実態が不明で、社会全体がパニックになりさまざまなことが言われ、流言や関連した事件も発生しました。ある程度の対応が確定して世の中が落ち着いてくると会合やイベント、旅行が盛んになってきました。しかし、統計によればなんらかのイベントの後には感染の流行が再燃しています。

このたび、国ではコロナ分類を2類相当から5類に移行する決定をしました。社会や経済の活性化のためにはやむを得ないとの判断です。一時期に比べれば発生数は格段に減少していますが、我々医療人は慎重にならざるを得ません。科学的根拠に基づいた決定であってほしいものです。有効な治療薬の少ない現状では、一般疾患とコロナを同一に取り扱うのはさまざまな問題があります。今まで、医療界で懸命に取り組んできた成果を無にはして欲しくないものです。感染力の強い感染症は一般医療とは分離する必要があります。日医には明確な意見を述べていただきたいものです。

私が年少のころ（1940年代～50年代）、冬になれば、学校でも家庭でもマスクとうがい手洗いを厳しく言われました。これは花粉症や季節性インフルエンザ予防の目的の他に、猛威を振るったスペイン風邪を経験した人々が多くいたことと、当時は敗戦直後で満足な薬も少なく一般的な風邪でも拗らせて重篤になることを恐れての手軽な予防法でもあったのでしょう。コロナにより再びマスク装着が当然の世の中になりました。今後、マスク装着は個人の裁量に委ねられても医療機関や介護施設では装着して欲しいものです。

5月より5類に移行されますが、流行の初期や最中はともかく長期化ともなれば飽きるし、経済や日常生活を通常に戻したいとの要望が出るのは当然です。しかし、我々医療関係者は、そのようなときにこそ率先して感染に対する警鐘を鳴らさなければなりません。ウィズコロナの言葉どおりにコロナとの共存が可能かは別にしても社会を円滑に回すためにはなんとか折り合いをつける必要があるのは理解できます。そのためには全国民が感染に対して正しく認識し、行動することが前提です。

一日も早くアフターコロナの状態になってほしいものです。しかし、将来も感染症流行は覚悟すべきで、人類の歴史は一面感染症との闘いの繰り返しです。各個人が正しく対応するのが重要で、アフターコロナでもそのような教育、啓蒙を緩めてはなりません。

(令和5年3月14日)

日州医談



かかりつけ医は、国民皆保険制度の根幹

宮崎県医師会 常任理事 ^{かね まる よし まさ}
金 丸 吉 昌

今、上手な医療のかかり方、自治体広報、地域医療を守る条例などで「かかりつけ医をもちましよう」と啓発が活発になってきている。

あらためて「かかりつけ医」とは何かを整理してみた。「私のかかりつけ医はA医療機関のB先生」、「私は内科はC医療機関、整形外科はD医療機関、眼科はE医療機関の三か所にかかりつけ医を持っている」、「私は現在特に持病もないので、かかりつけ医はいない」など、患者自らが「かかりつけ医」を選ぶ。居住している地域だけに限らず、市町村を超えても選べる。すなわちフリーアクセスで、どの診療科でも、どの地域でも「かかりつけ医」を選んで必要な医療を受けることができる。病気の状況によっては、「かかりつけ医」からの紹介で、より専門的な、より高度な医療を受けることもできる。またそこでの治療が終わって、逆紹介で今までの「かかりつけ医」で引き続き治療が続けられる。さまざまな健康相談もできる。急な発病、外傷などの場合、はじめて医療機関を受診することもあるが、診療時間内であれば医療情報などを基に選択した医療機関を受診できる。休日、夜間であれば、休日在宅医・夜間救急外来などを受診。より状況がきびしければ、救急車を要請。病病連携、病診連携、診診連携、医療・介護連携などで医療機関や、介護施設で必要な医療、介護が受けられる。このように「かかりつけ医」は極めて大事な役割を果たし、まさに国民皆保険制度の根幹を担っているのではないだろうか。

国の政策として、地域医療構想、医師の偏在（地域、診療科）対策、働き方改革が進められている。これからの医療提供体制が大きく崩壊しかねないのではないかと危惧している。現在、キャリア形成プログラムによる地域枠医師が活躍できる環境整備、日本専門医機構による専門医の質の確保、医学教育モデル・コア・カリキュラムの改定、医師臨床研修制度の見直し、医学部5年生の「Student Doctor」の法的位置付け等々が実施されてきている。また、地域医療構想により、病院の機能（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）ごとの病床数が推計された2025年の医療需要に少しずつ近づいてきている。診療報酬などによっても誘導されてきているのかもしれない。外来機能報告制度も動き出している。いよいよ本丸の「かかりつけ医」の在り方に及んできていると感じている。

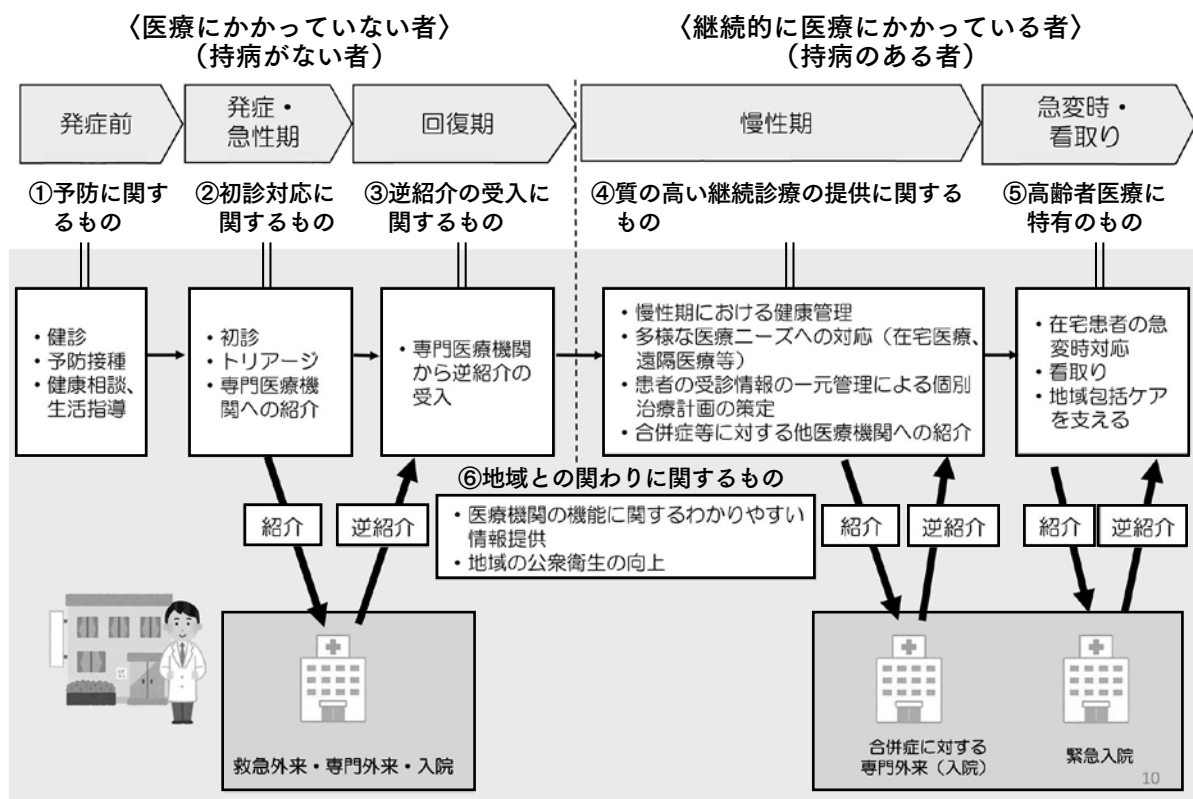
かかりつけ医機能の明確化とかかりつけ医機能が有効に発揮されるための方策の検討が始まっている。すでに国会の場で関連の法改正などの審議が動き出しているようだ。そもそも2013年8月の「日本医師会・四病院団体協議会合同提言」のなかで『「かかりつけ医」とはなんでも相談できるうえ、最新の医療情報を熟知して、必要なときには専門医、専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師と定義。この定義を理解し「かかりつけ医機能」の向上に努めている医師』としている。病院の医師か診療所の医師か、あるいはどの診療科かを

問うものではない。下の図で示している①～⑥の「かかりつけ医機能」のすべてを実施できることを問うものでもない。地域において自院で可能な「かかりつけ医機能」を果たし、医療機関間の連携とネットワークでその他の機能を補完することにより「地域における面としてのかかりつけ医機能」を発揮していくことが期待される。2016年4月より日医はかかりつけ医機能研修制度を開始し、今日に至っている。この研修の目的は今後の更なる少子高齢社会を見据え、地域住民から信頼される「かかりつけ医機能」のあるべき姿を評価し、その能力を維持・向上するためとしている。今後この研修の充実が益々期待される。またこの研修への参加が広く拡大することも重要な鍵になるのではないかと感じる。

医療機能情報提供制度はあくまで、国民・患者による医療機能の適切な選択に資するよう

「かかりつけ医機能」に関する情報を分かりやすく提供するものである。当然、罰則の規定が入ったり、認定制になったり、登録制になったり、患者からのアクセスの制限につながるような仕組みになってはならない。患者がフリーアクセスのうえで適切な選択ができるとともに自らの医療機関の役割の向上にも資していくことが期待される。あわせて診療報酬上の評価が連動することも望まれる。

医療は、日々の暮らしの中にある。安心して暮らせるためにも大変重要である。今進められている政策は一貫して効率化が底辺に流れているように感じる。効率化のために「無用の用」がすべて消し去られることがないよう祈りたい。間違っても自由な受診を規制する「家庭医制度」と「人頭報酬制度」につながらないように願う。



受診の場合からみた、保健医療のニーズ ※①～⑥はかかりつけ機能を示す

(出典 第94回社会保障審議会医療部会 資料1-1より引用し一部改変)

随 筆

フト思い出す心に残した一言

延岡市 ほうしやま子どもクリニック

ほう し やま
宝珠山ひろし
弘

心に残る一言のみを記してみた。

冬来たりなば春遠からじ

咲いた咲いた桜が咲いた，コイコイ白コイ
(犬の名前)

これは小生の小学1年生の国語の本の1ページだ。まちまちの文ではあるが記してみる。

- ・孝行したい時は親はなし
- ・馬齢を重ねて90年ユメまぼろしの如し
- ・人生はタメ息が多い（注意と用心が大切）
- ・人生はタメ息が多いのは注意をすれば少ないのである
- ・名もなく貧しく美しく（心の美しい人を美人と云ふ）

- ・相手の身になって物を考える心も大切である
- ・今日私はポリオと骨折をやんで心のリハビリにはげんでいる
- ・心のホホエミ忘れず心のリハビリにはげんでいる
- ・医学と教育は車の両輪である
- ・ボロは着てても心の錦（どんな花よりきれいだよ，どんな花にも負けず前進あるのみである）

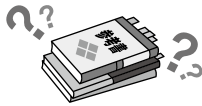
人生とは，ああ人生は人生は。



3月のベストセラー（宮崎県）

集計：2023年3月1日～3月23日

1	三千円の使いかた	原 田 ひ 香	中 公 文 庫
2	吉原裏同心㊥ 晩節遍路	佐 伯 泰 英	光 文 社 文 庫
3	102歳，一人暮らし。	石 井 哲 代	文 芸 春 秋
4	安倍晋三回顧録	安 倍 晋 三	中央公論新社
5	死は存在しない	田 坂 広 志	光 文 社 新 書
6	流人道中記〔上〕・〔下〕	浅 田 次 郎	中 公 文 庫
7	地図と拳	小 川 哲	集 英 社
8	名探偵のままでいて	小 西 マ サ テ ル	宝 島 社
9	一人称単数	村 上 春 樹	文 春 文 庫
10	20代で得た知見	F	KADOKAWA



あなたできますか？

—令和3年度 医師国家試験問題より—

(解答は33ページ)

1. 57歳の男性。21歳から1日に20本の喫煙をしている。45歳から49歳まで禁煙をしたが、1日に20本の喫煙を再開した。

喫煙指数はいくつか。

- a 480
- b 540
- c 640
- d 720
- e 1,080

2. 乳房の悪性疾患を疑わせる所見として**可能性が低い**のはどれか。

- a えくぼ徴候
- b 橙皮様皮膚
- c 乳頭のびらん
- d 血性乳頭分泌
- e 乳頭の色素沈着

3. 地方衛生研究所の**業務でない**のはどれか。

- a 人口動態統計に係る統計
- b 疾病予防に関する調査研究
- c 地域保健関係者の研修指導
- d 衛生微生物に関する試験検査
- e 公衆衛生情報の収集・解析・提供

4. 2009年に比較して2019年の数値が上昇しているのはどれか。

- a 総人口
- b 平均寿命
- c 年間出生数
- d 生産年齢人口
- e 合計特殊出生率

5. 排尿障害の診断で有用なのはどれか。**3つ選べ**。

- a 残尿測定
- b 尿流測定
- c レノグラム
- d 腹部超音波検査
- e 末梢神経伝導検査

6. 正常の胎児循環において最も酸素分圧の高い血液が流れている部位はどれか。

- a 臍静脈
- b 肺静脈
- c 動脈管
- d 上大静脈
- e 内腸骨動脈

7. 13歳の女子。バスケットボールの試合中に気分不快と腹痛が出現したため、教師に付き添われ来院した。会場で用意された弁当を食べて約1時間後に試合に出場した。試合開始10分後に

気分不快と全身の皮膚瘙痒及び強い腹痛が現れた。弁当の主な副食材はイカであり、最近1年ほどは食べていなかったという。診察時には気分不快や腹痛のピークは過ぎていた。意識は清明。体温36.8℃。脈拍80/分。呼吸数18/分。SpO₂100% (room air)。血圧110/76mmHg。呼吸音に異常を認めない。腹部は平坦、軟で、軽度の紅斑と膨疹を認める。血液所見：赤血球430万、Hb12.5g/dL、白血球4,800 (分葉核好中球42%、好酸球2%、リンパ球56%)、血小板21万。CRP0.3mg/dL。

今後の対応として適切なのはどれか。

- a 部活動を止めさせる。
- b イカの摂取を禁ずる。
- c プリックテストを行う。
- d 運動前の食事は禁止する。
- e 運動前にステロイド薬を内服させる。

8. ショックの原因と治療薬の組合せで正しいのはどれか。

- a 敗血症 ————— ノルアドレナリン
- b 大量出血 ————— ヘパリン
- c 徐脈性不整脈 ————— グルコース
- d 肺血栓塞栓症 ————— アミノフィリン
- e アナフィラキシー — リドカイン

9. アナフィラキシーの患者に対する病歴聴取で最も**必要性が低い**のはどれか。

- a アトピー性皮膚炎の合併
- b 直近の食事の内容
- c 蜂に刺されたこと
- d 食後の運動
- e 内服薬

10. 48歳の女性。口渇と全身倦怠感を主訴に来院した。5日前に発熱と腹痛があった。食事はいつも通り摂取している。意識は清明。体温36.8℃。脈拍84/分、整。血圧108/68 mmHg。眼瞼結膜と眼球結膜に異常を認めない。腹部は平坦、軟で、肝・脾を触知しない。尿所見：蛋白(－)、糖3+、ケトン体3+、潜血(－)。血液所見：Hb 13.2g/dL、白血球9,500、血小板24万。血液生化学所見：血糖440mg/dL、HbA1c5.8% (基準4.6～6.2)、Cペプチド0.2ng/mL (基準0.8～2.5)。

患者への説明として適切なのはどれか。

- a 「食事と運動で良くなります」
- b 「直ちにインスリンを使用します」
- c 「まず飲み薬で糖尿病の治療を始めます」
- d 「HbA1cが正常なので糖尿病とはいえません」
- e 「経過観察のため半年後に受診してください」

エコー・リレー

(572回)

(南から北へ北から南へ)

23年ぶりのエコー・リレー

宮崎市 山脇内科 山脇 清一



前回は西暦2000年だったので実に23年ぶりのエコー・リレーだ。23年後は85歳なのでおそらくこれが最後になるだろう。このような機会を与えてくださった

河野敦子先生に感謝します。前回の2000年にはシドニーオリンピックについて書いた。柔道の井上康生選手はオール1本勝ちで金メダル。華々しいオリンピックデビューだった。しかし、人生は思いどおりにはいかない。井上選手はアテネオリンピックで連覇を狙うも準々決勝でまさかの敗退。メダルすら獲れなかった。しかし井上選手がすごいのはここから。2012年に低迷する全日本男子柔道の監督に就任し、2021年の東京オリンピックでは日本男子柔道至上最多の金メダル5個の快進撃をみせた。まさにアテネの惨敗から生まれた快勝。井上選手は未来を変える事により過去をも変えた。今、「ブラッシュアップライフ」というドラマが面白い。33歳独身の麻美は事故で亡くなる。あの世には受付のような所があり、来世を告げられるが、それは人間ではなかった。もっと徳を積まないと人間にはなれない。ただし、麻美として人生をやり直すこともできる。麻美は迷わず3周目も4周目もやり直す。私も人生やり直せたらと思うこともあるが、やり直しのきく人生ってどうなんだろう。1度しかないと思うから頑張れるし、平凡な日常でも自分には想い出深い。井上康生さんは人生3回分くらいのことを20年で成し遂げたのだからすごい。

[次回は、都城市の大岐 照彦先生をお願いします]

初心者の趣味の園芸

宮崎市 医療法人ハートピア みよしクリニック 三好 良英



小学校か中学校で「花鳥風月」の四字熟語を習った際、教諭から「花を愛でるとなると老化のはじまり」と聞いた。以前は飾られている花が造花と気付かないほど草花に興味がなか

ったが、加齢の影響か、最近は診察室のベランダでの園芸が趣味となり、診察前の水遣りが日課になっている。

精神科では園芸は作業療法の1つとして行われている。精神科医になってすぐ、先輩から「園芸は身体を動かす運動の側面だけでなく五感を刺激し楽しさや喜びを感じることができる」と教わった。同期と病棟の畑で花や野菜を育てていたものの、当時は興味が湧くことはなかった。

最初はインパチェンスを植えることから始めた。肥料と水を遣るとニョキニョキと成長し「綺麗に咲いていますね」と褒められたことから楽しく感じるようになった。調子に乗って、春から夏にはキンギョソウ、メランポジウム、ニチニチソウ、秋からはビオラ、シクラメン、プリムラジュリアンと、聞いたこともなかった名前の花々を植え、YouTubeで育て方まで見るようになった。

園芸に興味を持ち始めると、歩道や店の入り口に咲くパンジーなどにも目がいくようになり、世の中にこれほど多くの花が存在していたのだと気付いた。正月休みには朝から娘を連れてハンズマンに向かい、ビオラ28株で979円という福袋を2つ購入した。鉢に植え替えると半日が過ぎており、家族に呆れられた。初心者の趣味の園芸はしばらく続きそうだ。

[次回は、宮崎市の土井宏太郎先生をお願いします]

メディアの目



「Check!」放送開始2年を振り返って

MRT宮崎放送 報道部長
その だ やす ひと
蘭 田 康 人

MRTテレビの番組「Check!」をご覧になったとはありますか？毎週月～金の夕方4時50分から6時55分まで放送しているローカル番組です。同番組は、MRT初の夕方ローカルワイド番組として、2021年春に放送を開始しました。メディアの多様化が進む中、地方の放送局として生き残りを図るには、地域に根差したコンテンツ力の強化が求められており、新番組のスタートには、そうした背景もありました。ただ一方で特に夕方5時台は、他局が全国ニュースを放送している中、どれだけの県民が番組を見にくれるのか不安があったのも事実です。

そうした中、スタートした「Check!」。報道情報番組と銘打ち、5時台はニュースをはじめ各地からの中継・グルメ・天気など地域の情報を楽しく展開。6時台はその日のニュースをメインに、より詳しく分かりやすく伝えることを心がけています。放送開始から2年が経ち、課題は多いものの、現時点では一定の手ごたえを感じ始めています。いま、地元で何が起きているのか、夕方のテレビを通じて知りたいと思っている人がまだまだ多いのではと。毎日募集する県民アンケートは多い日は約1,000通。また視聴率を見てみると、番組スタート当初に比べ上昇傾向で、特に30～40代の女性層に支持され

ていることが分かります。

テレビ離れも叫ばれる中、なぜそうした支持をいただけるようになったのか。複合的な要因があると思いますが、まずは単純に県民の関心が高い、知りたい情報やニュースをある程度お届けできていることに、視聴者が好感を持っているのではないかと思います。

報道部門の責任者として最近よく感じるのは、マスコミがニュース性が高いと考える出来事と一般の人の関心が必ずしも一致しないということです。いまでは放送局が、ニュースをネット配信することが常識になっています。しかし、その日のMRTのトップニュースが、ネット上のページビュー数でも1位になることは、むしろ少ないのが現実です。最近は、リアルタイムで確認できるネット上の反応・関心をふまえ、報道する場面も増えてきました。また、毎週末に、1週間のネットアクセス数をもとにしたニュースランキングもスタートさせました。

「Check!」は今春から3年目に入ります。ネットというツールも活用して一般の生活者の声に謙虚に耳を傾けながら、県民に本当の意味で支持され愛される番組になれるよう、今後もスタッフ一同、取り組んでいきたいと思っています。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第19回 未払い診療費の回収について

**Q.**

当院の患者さんで、窓口負担となる治療費の滞納が目立つ方が増えてきました。あまり強く督促を行うのはクリニックの評判を考えるとどうかと思いますが、滞納が増えてくれば何かしらの対策を行う必要があると考えています。どうすればよいですか？

窓口負担の治療費を滞納される患者の数は増加傾向にあります。自由診療はもちろん、保険診療であっても滞納件数が増えれば未払いの治療費の額は高額となりますし、誠実にお支払されている患者の平等を図るためにも未払い診療費対策は急務です。

その一方で、厚生労働省（当時は厚生省）は、「治療費の滞納がある」だけでは応召義務に基づき診療の拒絶はできない旨の通達を出しているため診療の拒絶はできません。また、治療費を払えない患者に対して訴訟や差押などの強制的な回収を行うことは、周囲の評判やクリニックの事務負担から考えてもあまり得策ではありません。

そのため、大切なことは治療費の滞納が発生しないような体制づくりにあります。

まず、入院などにより一定額以上の治療費が予想される場合には、入院保証金を受領して退院時に精算する方法が考えられます。

また、滞納が発生した場合には、支払計画を明記した念書や支払を約束する誓約書を作成して署名してもらうことも重要です。更に、家族や近親者などを滞納された治療費の連帯保証人になってもらうことも有効です。

その後、念書や誓約書に基づいた支払さえも滞納される場合には、その支払いを求める内容証明郵便や電話で督促を行うと効果的です。

なお、保険診療において医療機関が善良な管理者として督促を行なったにも関わらず、支払がされない場合、保険者が一部負担金を支払うという保険者徴収制度があります。未払診療費を社会保険から受け取ることができるのでメリットが大きいのですが、保険者徴収制度の適用を受けるためには厳しい要件が定められているため、使用できるかは慎重な判断を要します。

（回答 弁護士法人きさらぎ 弁護士 高山 桂）

A.

<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール（genko@miyazaki.med.or.jp）、FAX、郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

表彰・祝賀

公衆衛生事業功労により厚生労働大臣表彰

いち	はら	よし	ひろ	
市	原	美	宏	先生（宮 崎）
はや	み	はる	お	
速	見	晴	朗	先生（都 城）
あか	す		いわお	
赤	須		巖	先生（延 岡）

令和5年2月27日、公衆衛生事業功労により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします



市原 先生



速見 先生



赤須 先生

公衆衛生事業功労により一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰

せ	の	くち	より	ひさ	
瀬	ノ	口	頼	久	先生（都 城）
の	むら	とも	きよ		
野	村	朝	清	先生（延 岡）	
こ	だま	よし	ひさ		
児	玉	芳	久	先生（西 都）	

令和5年2月27日、公衆衛生事業功労により日本公衆衛生協会会長表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



瀬ノ口 先生



野村 先生



児玉 先生

宮崎県感染症発生動向 ～2月～

令和5年1月30日～令和5年2月26日（第5週～第8週）

■全数報告の感染症

- 1類：報告なし。
- 2類：○結核7例（男性5例・女性2例）：宮崎市保健所管内から報告があった。病型は肺結核が4例，その他の結核（頸部リンパ節結核）が1例，無症状病原体保有者が2例であった。年齢は80歳代が4例，20歳代，60歳代，70歳代が各1例であった。
- 3類：○腸管出血性大腸菌感染症1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は50歳代で，無症状病原体保有者であった。原因菌はO146（VT2）であった。
- 腸チフス1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は30歳代であった。主な症状として高熱，比較的徐脈，バラ疹，下痢，便秘がみられ，海外への渡航歴があった。
- 4類：○重症熱性血小板減少症候群（SFTS）1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は50歳代で，ダニの刺し口は確認できなかった。主な症状として発熱，頭痛，嘔吐，食欲不振，全身倦怠感，血小板減少，白血球減少がみられた。
- つつが虫病2例：宮崎市，都城保健所から報告があった。年齢は20歳代と40歳代で，主な症状として発熱，刺し口，発疹がみられた。
- レジオネラ症1例：延岡保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，病型は肺炎型であった。主な症状として咳嗽，呼吸困難，肺炎がみられた。
- 5類：○ウイルス性肝炎1例：日向保健所管内から報告があった。年齢は40歳代の女性で，病型はサイトメガロウイルス，主な症状として全身倦怠感，嘔吐，発熱，肝機能異常がみられた。
- 急性弛緩性麻痺1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は10歳代で，主な症状として弛緩性麻痺がみられた。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は90歳代で，主な症状としてショック，軟部組織炎，菌血症がみられた。
- 後天性免疫不全症候群1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は30歳代で，無症候性キャリアであった。
- 侵襲性肺炎球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は50歳代で，主な症状として発熱，菌血症がみられた。ワクチン接種歴は無かった。
- 梅毒12例（男性8例・女性4例）：宮崎市（8例），都城（2例），日南，日向（各1例）保健所管内から報告があった。年齢は20歳代と30歳代が各5例，40歳代と60歳代が各1例であった。病型は早期顕症梅毒Ⅰ期が6例，早期顕症梅毒Ⅱ期が4例，無症状病原体保有者が2例であった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，扁平コンジローマ等がみられた。
- 百日咳1例：日向保健所管内から報告があった。年齢は0～4歳の女性で，主な症状として持続する咳がみられた。ワクチン接種歴は有りであった。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は6,587人（定点あたり139.1）で，前月の128%，例年の181％であった。

前月に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ，A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で，減少した主な疾患はRSウイルス感染症，手足口病及び流行性耳下腺炎であった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザ，感染性胃腸炎，ヘルパンギーナ及び流行性耳下腺炎であった。

インフルエンザの報告数は4,374人（75.4）で

■病原体検出情報（微生物部）

	検出病原体	件
ウイルス	Coxsackievirus A6	1
	Influenza virus AH3	4
	Rhino virus	1

前月の約1.2倍、例年の約5.6倍であった。延岡（158.3）、日向（93.5）、都城（81.9）保健所からの報告が多く、5歳から9歳が全体の約4割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は1,946人（54.1）で前月の約1.5倍、例年の約1.4倍であった。小林（84.0）、都城（78.0）、中央（73.0）保健所からの報告が多く、1歳から4歳が全体の約6割を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向〈2023年2月〉

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は27人（2.1）で、前月比113%と増加した。また、昨年2月（3.6）の約0.6倍であった。

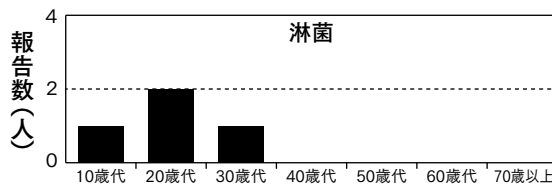
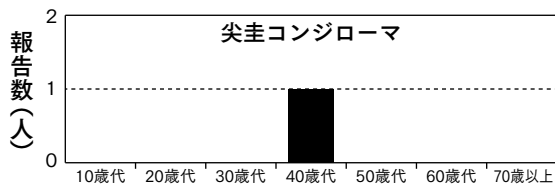
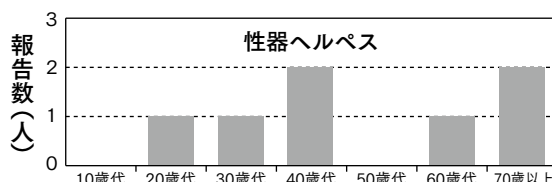
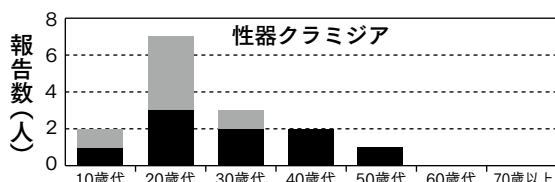
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数15人（1.2）で、前月と同率、昨年2月の約0.7倍であった。20歳代が全体の約半数を占めた。（男性9人・女性6人）

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数7人（0.54）で、前月の約2.3倍、昨年2月の約0.8倍であった。（女性7人）

○尖圭コンジローマ：報告数1人（0.08）で、前月と同率、昨年2月の0.5倍であった。（男性1人）

○淋菌感染症：報告数4人（0.31）で、前月の0.8倍、昨年2月の約0.3倍であった。（男性4人）



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は24人（3.4）で、前月比104%とほぼ横ばいであった。また、昨年2月（3.4）と同率であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数24人（3.4）で、前月と同程度、昨年2月と同率であった。いずれも70歳以上であった。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

前月との比較

	2023年2月		2023年1月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	4,374	75.4	3,578	62.8	★
RSウイルス感染症	31	0.9	42	1.2	
咽頭結膜熱	51	1.4	45	1.3	
※溶レン菌咽頭炎	61	1.7	39	1.1	
感染性胃腸炎	1,946	54.1	1,315	36.5	★
水痘	11	0.3	12	0.3	
手足口病	5	0.1	22	0.6	
伝染性紅斑	1	0.0	0	0.0	
突発性発しん	47	1.3	56	1.6	
ヘルパンギーナ	38	1.1	39	1.1	★
流行性耳下腺炎	6	0.2	10	0.3	★
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	15	2.5	11	1.8	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	1	0.1	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

各都市医師会だより

西 白 杵 郡 医 師 会

コロナ禍第8波が収束し、多くの医療機関では5月8日の「5類」への移行を見据えながら第9波に備えている状況だと思います。西白杵郡3公立病院の経営統合の進捗について報告いたします。

西白杵3町での病院のあり方検討会は、2015年度から高千穂保健所が事務局の検討委員会を経て、2019年2月から地域医療構想調整会議内の「西白杵地域公立病院部会」へ継続されていましたが、同年9月に厚労省が公表した「再編統合について特に議論が必要」な病院に五ヶ瀬町国保病院が含まれたことで議論が加速されました。持続可能な医療提供体制構築には3公立病院がそれぞれ単独よりも、経営統合により地域医療課題に総合的に対応できる可能性が高まるとの結論を得、2021年4月に「西白杵地域公立病院統合再編準備室」が開設され、同年10月に「西白杵地域における医療連携に係る基本構想」が策定されました。3公立病院の既存建物が活用できる2030年ごろまでは、経営統合・機能再編を図りながら地域完結型医療の確立を目指し、それ以降は建て替えを含めた抜本的な医療提供体制の見直しを図るとされています。

機能再編の中間段階として、本年4月から高千穂町国保病院の療養病床が一般病床へ、日之影町国保病院の一般病床が療養病床へ機能転換されます。2024年4月には五ヶ瀬町国保病院の介護療養病床が介護医療院へ転換される予定です。

地域住民に寄りそった医療提供の維持のために今後も取り組んでまいります。

(崔 林承)

宮 崎 市 郡 医 師 会

宮崎看護専門学校は、本年度を高等課程（准看護師養成）の最終募集とし、令和7年4月より看護師3年課程定時制（4年修業）へ移行します。少子化による受験者数の減少により、看護学校の運営は厳しい状況が続いています。医師会立看護学校卒業生の県内就職率は高く、地域医療を守るうえで、看護師養成は重要な事業です。社会人や介護経験者など、看護師を目指す方々の受け皿となり、働きながら看護師を目指す学校として再出発します。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

(白尾 一定)

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

人々の移動によりコロナ感染が増加することは、今までの経過で判明しています。5月8日からコロナが感染症分類変更といわれていますが、救急医療を含めて一般診療でも介護施設でも工夫が必要となります。コロナ以前の状態に

は戻れません。感染対策を患者や施設利用者に理解してもらう努力が、今以上に求められることになります。マスクの着脱は個人の裁量だけでなく、分かりやすい場面設定を作ることがトラブル防止になるかもしれません。

(福島 義隆)

延 岡 市 医 師 会

令和5年3月1日現在、県内の新型コロナ感染は落ち着き、第8波は収まってきつつあります。インフルエンザ感染は少ないものの発生している状況で、代わりに花粉症が猛威を振るっております。COVID-19第8波のピーク時には、祝日当番医では対応できない感染者が発生し、延岡市では、延岡市医師会主体で、祝日に感染外来を設置し、当番医のサポートを行いピークを乗り切ることができたと思います。当院では、新型コロナウイルス感染対応、ワクチン接種、インフルエンザ同時流行もあり、スタッフ増員を余儀なくされました。第8波が落ち着いてく

ると人員過多の状況となってきました。コロナウイルスは経営にも大きく影響を与えるウイルスだと痛感させられました。

(安藤 誠)

日向市東臼杵郡医師会

日向看護高等専修学校の58回生（令和5年4月入学生）は昨年10月1日に推薦・社会人入試、同月15日に一般（一次）入試、本年2月4日に一般（二次）入試を行いました。出願総数は定員ぎりぎりの32名でしたが、28名を合格としました。

昨年から延岡看護専門学校看護課程の募集停止の影響で、日向市東臼杵郡域外からの学生が増えており本年も12名が地域外入学者です。地域医療を支える人材育成が目的の本校ですが、今後その地域の枠を拡大し、よりよい准看護師を育てていきたいと考えています。

(松岡 敬子)

児 湯 医 師 会

今年に入り、学術講演会は月1回は開催できるようになりました。ハイブリッド形式で、会場に行かなければ演者の先生はもちろん、近隣の先生と話しをする機会がめっきり減り、Webはどこでも聴講可能な面は便利ではありますが。恐らく2020年2月を最後に“やぶ会”（藪医者の会？）という月1回の自由参加による会食がなくなり、食事をしながらざくばらんに話ができる機会がなくなっております。そろそろ“みやざきモデル”を実践しつつ、そのような会を再開してもよいのではと個人的に思う今日この頃です。

(野津手 大輔)

西都市西児湯医師会

新型コロナウイルスおよびインフルエンザ感染者数も減少し喜ばしい状態ですが、西都児湯医療センター理事長は任期一年を残し、辞職されることになりました。西都市長との話し合い

もできない状態でした。当医師会としては、市民が安心して医療を受けられるよう、行政・西都児湯医療センター・当医師会が一体となり、協力しあえる環境を作っていきたいと思っていました。今回の件に関し、このような結末になったことは非常に残念です。行政に対する不信感も強く、今後西都市の医療がどのような形になっていくのか、見守っていききたいと思います。

(上野 尚美)

南 那 珂 医 師 会

最近の話題は2023年の10月から始まる、インボイス制度と南那珂地区会員の減少です。インボイス制度の導入により、保険診療以外の部分に消費税がかかり、それにとまなう収入の減少、医師会の手続きの増加などが生じ、今後議論する必要があります。また会員の減少は、現在輪番で回している夜間急病センター、休日当番医の負担増加により先生方の負担を招きます。令和5年3月25日、東九州自動車道、清武、東郷間の開通により南那珂地区へのアクセスがよくなり、会員増加につながらないものかと考えています。

(川西 昭人)

西 諸 医 師 会

昭和34年に設立され、64年間にわたり西諸地区の医療に多大な貢献をしてくれました小林准看護学校が、令和5年3月8日の卒業式をもって閉校となりました。20名の歴代学校長の先生方とともに、すべての西諸医師会会員の先生方にも多大なご尽力をいただき、2,229名の卒業生を送り出すことができました。また准看護学校の閉校により小林西高等学校との技能連携教育も終了となりました。ただ最後の卒業生たちはまだ小林西高等学校に在学中ですので、彼らの高校卒業までは西諸医師会も支援してまいります。

(井尻 裕司)

宮崎大学医学部だより

解剖学講座 ー超微形態科学分野ー



さわぐち あきら
澤口 朗 教授

私ども解剖学講座超微形態科学分野（旧解剖学第二講座）では、肉眼解剖学教育と電子顕微鏡レベルの形態学的研究に従事しております。2010年7月に澤口 朗が教授に着

任して13年目を迎えました。現在の教職員は講師・高橋伸育，助教・北川恭子，事務補佐員・戸高靖代に加え，解剖教育支援室の技術専門職員・大西信宏と技術職員・園田真哉の計6名で構成されています。

学部教育は，医学科1年次～2年次の学生を対象とした肉眼解剖学の講義・実習を中心に担当しております。現行のカリキュラムでは1年次に全ての講義を終え，2年次の4月から7月にかけて解剖学実習を実施する形式となっております。臨床医学に直結する解剖学実習では，大学附属病院の耳鼻咽喉科，脳神経外科，整形外科，救命救急センターに加え，都城橋病院の柏木輝行院長（本学臨床教授）にご協力いただき，手術器具を用いた剖出により，実践的かつ臨場感あふれる「臨床」解剖学実習を展開しております。

地域貢献を目的とした取組みでは，看護師や理学療法士，救急隊員をはじめとする県内のメディカルスタッフ養成学校を対象とした解剖学標本示説を実施しております。更に，プロ野球の読売ジャイアンツから要請を受けて，トレ

ーナーやトレーニングコーチのスキルアップをはかる解剖学標本示説研修を実施しております。強力なバッティングや繊細なピッチングに係わる筋や神経の走行，関節構造の理解が深まることに，好評をいただいております。

研究では，ヒトiPS細胞を用いた血球産生と臨床応用で世界をリードする江藤浩之教授（京都大学iPS細胞研究所）との共同研究において，電子顕微鏡を用いた血小板の超微形態解析を担当し，令和4年4月には「血小板減少症患者を対象としたiPS細胞由来血小板製剤の探索的臨床試験」第一例が実施され，無事に完了いたしました。当研究室では，iPS細胞を応用した再生医療研究を促進するため，細胞や組織の立体構造を簡便かつ迅速に解析できる新たな電顕観察手法を開発し（Scientific Reports, 8:7479, 2018/Communications Biology, 4:710, 2021），その応用と改良を進めております。現在，高橋講師が確立した腭頭部癌由来の細胞株であるVAT-39を用いながら，培養細胞の新たな電顕観察手法の開発も進めております。

地域医療を担う医師不足が叫ばれる中，次世代の基礎医学研究と教育を担う人材不足も顕在化し，本学でも医学研究者育成コースの設置をはじめ，多角的な対策が進められております。新型コロナウイルス感染症に象徴される未知の病や，長く難病に指定されながら治療法が確立されていない不治の病に立ち向かう後進の育成は喫緊の課題であり，基礎医学の道を歩む魅力を体現しながら日々尽力してまいりますので，今後ともご指導とご鞭撻のほど，よろしくお願い申し上げます。

部会だより

労 災 部 会

さとう のぶひろ
佐藤 信博 部会長

宮崎県医師会労災部会は、昭和39年5月に設立されて以来、会員相互の親睦を深め、労災診療内容の向上と労働者の福祉、労災補償の発展に寄与することを目的に事業活動を行っています。会員は、労働者災害補償保

険法に基づく労災指定医療機関の代表をもって、現在403の医療機関で構成されています。

労災保険診療は公的医療保険に準じての治療のみではなく、傷病労働者の早期社会復帰を目的とした傷病期間の補償、症状固定・後遺障害の補償、障害年金等診療など、身障者介護分野までさまざまな診断や認定などに関して、多くの分野での専門医のお力を必要としております。

また、今般の新型コロナウイルス感染症におきましても、労災保険の請求勧奨や医学的事項などの照会についてご協力をいただいております。県医師会員の先生方には、日頃からのご協力に対しまして、この場をお借りして衷心より感謝申し上げます。

次に労災部会について、現況を紹介します。

1 労災部会の構成

(1) 理事会

(部会長以下9名、監事2名、顧問3名)

(2) 宮崎労災保険診療費審査委員会

(委員長以下11名)

(3) 宮崎県医師会労災部会自賠委員会

(委員長以下11名)

2 令和5年度事業計画(案)

(1) 定期総会

(2) 補習教育(研修会など)の開催

- ① 医学会(県外科医会並びに県整形外科医会との合同学会)の開催

② 労災診療費算定実務研修会の開催

③ 労災関係保険審査委員会会議への参加

(3) 労災診療指導委員会の開催

(毎月1回 年12回)

(4) 理事会の開催(毎月1回 年12回)

(5) 労災指定医療機関の指導・調査

(6) 交通事故問題の検討

① 自賠委員会(年2回)の開催

② 損害保険医療協議会(年2回)の開催

③ 損害保険医療協議会小委員会(適時必要に応じて開催)

④ 自賠責保険研修会(医療機関実務担当者向け)の開催

今年度の定期総会は7月22日(土)に県医師会館で開催いたします。合同学会では、宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション部 教授 荒川英樹先生に「障害における保険・福祉サービス～労災や医療における義足・高次脳機能障害などの事例を含めて～」と題してご講演をお願いしておりますので、先生方のご参加をよろしくお願いいたします。

また、労災診療費算定実務研修会には、毎会多くの医療請求事務職員の方々が受講され、労災診療費の請求漏れをなくし、適正な請求方法についてご理解していただいております。

当部会自賠委員会では、会員医療機関と患者さん、損保会社との交通事故診療における問題解決にも引き続き取り組みますので、トラブル事案が生じたときには、労災部会事務局へFAXなどでご連絡をお願いいたします。

最後に、労災指定医療機関で当部会へ未加入の医療機関におかれましては、ご入会についてお願い申し上げますとともに、会員先生方と労災保険診療・交通事故診療に関する諸問題への迅速な解決を図ってまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

宮崎県医師会創立134周年記念医学会・県民健康セミナー

と き 令和5年2月25日(土)

ところ 現地聴講（県医師会館）とWeb聴講の
ハイブリッド開催

現地聴講とWeb聴講のハイブリッド方式で創立記念医学会と県民健康セミナーを同時開催した。

また、開会に先立ち役員のみで医神祭を執り行い、市来常任理事から医神祭の歴史、経緯について説明の後、全員で拝礼を行った。

会長挨拶（要旨）

本日は、県内各地からWeb参加をはじめ、本会館にも多数ご参集いただき、感謝申し上げます。

本セミナーは、県民の皆様方に、病気に関する正しい知識と対策、日常の健康管理に役立つ情報をお伝えすることと、「医師会が行う活動」をより身近に感じていただくことを目的に、創立記念医学会と同時開催とさせていただきます。

宮崎県医師会は1889年（明治22年）に発足し、県民の皆さまとともに生きるという「地域共生」の理念をかげ、関係機関と連携しながら、日々活動している。

本日は、県医師会医学賞授賞式、医学賞講演、特別講演2題を予定している。最後までご静聴をよろしくお願いいたします。

宮崎県医師会医学賞授賞式

市来常任理事から次のように選考についての説明があった。令和4年11月14日に開催された医学賞選考委員会において、宮崎県医師会医学雑誌第45巻第1号および第2号の論文の中より、西田卓弘先生の「宮崎大学医学部附属病院におけるがんゲノム医療の現状と今後の課題」が医学賞に推薦され、全理事協議会で正式決定された。



左から西田先生、河野会長



会場の様子

次に、河野会長から西田先生に表彰状と賞金が贈呈された。

医学賞受賞者講演

市来常任理事の座長により、今回医学賞を受賞された西田卓弘先生に、受賞論文である「宮崎大学医学部附属病院におけるがんゲノム医療の現状と今後の課題」の概要をご講演いただいた。

特別講演

中山健先生の座長により、講演Ⅰでは、宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション部 教授の荒川英樹先生に「入院で寝たきりにならないために～リハビリテーションの話～」と題し、生活に支援が必要な「要介護状態」にならないためのリハビリテーションについてご講演いた

だいた。

また、講演Ⅱでは宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座泌尿器科学分野 教授の賀本敏行先生に「ロボット支援手術（ダ・ヴィンチ）の現況と未来」と題し、外科治療の低侵襲化の歴史とロボット手術の現況、更には将来展望についてご講演いただいた。

お知らせ

第24回 宮崎県医師会 医家芸術展 作品募集！

宮崎県医師会医家芸術展は、会員の医師およびそのご家族から、写真、絵画、書道、その他の作品を出展いただき開催しているもので、今年で24回目を迎えます。

今年度も下記の要領で作品を募集いたしますので、ご出展を心よりお待ちしております。

応募要領

- 1 展示期間：8月9日(水)～13日(日) 10時～18時（13日のみ15時まで）
- 2 場 所：宮崎県立美術館 2 F 県民ギャラリー
（宮崎市船塚3-210 県総合文化公園内）
- 3 応募作品：写真、絵画、書道、その他作品（サイズに限りがあります。事務局にご相談ください。）
※肖像権および著作権へのご配慮をお願いいたします。
※作品の搬入・搬出につきましては、各自の責任のもとでお願いしています。
- 4 応募資格：宮崎県医師会会員および家族（高校生以上）
- 5 応募方法：県医師会ホームページより応募用紙をダウンロードし、FAXにてご提出ください。
【検索】⇒ 宮崎県医師会 第24回医家芸術展 作品募集
応募用紙の郵送／FAXをご希望の方は、事務局までご連絡ください。

応募締切：令和5年5月19日(金)

応募先／問合せ先：宮崎県医師会医家芸術展事務局

TEL：0985-22-5118

FAX：0985-27-6550

－ 各種委員会 －

救急災害医療対策委員会

と き 令和5年2月13日(月)

ところ 県医師会館2階研修室およびZoom
によるWeb会議

落合理事の司会により開会された。

河野会長の挨拶の後、県医師会全理事協議会において、委員長は落合秀信先生、副委員長は長嶺育弘先生が選任されたことが報告され、自己紹介が行われた。

次に、河野会長から落合委員長へ「宮崎県医師会災害医療対応マニュアルの作成」について諮問され、議事へ入った。

1 報 告

1) 九州医師会連合会災害時医療救護協定および運用マニュアルについて

池井常任理事より九州医師会連合会で災害時医療救護協定書（平成26年度締結）の改定が令和4年4月に行われ、それにもない運用マニュアルが作成されたことが報告された。

2) 2/20 災害時リハビリテーション機能強化事業「宮崎JMAT・宮崎JRAT研修会」の開催について

落合委員長より研修会の詳細について報告された。

2 協 議

1) 宮崎県医師会 災害医療対応マニュアルの作成について

落合委員長より宮崎県医師会災害医療対応マニュアルの改定について、作成方針を説明され、マニュアルのたたき台が示された。参加委員で目次に沿って内容を確認するとともに、意見交換を行った。挙がった意見を参考にしながら、マニュアル案を作成することで了承された。

委員からは行政との連携についての質問やマニュアルに沿った訓練実施などについての意見もあった。



出席者－落合委員長，長嶺副委員長，
尾田・平野・千代反田・瀧井・坪内・
甲斐・福田・金丸・河野・荒川・
瀧口・中谷委員

（県医）河野会長，山村副会長，
池井・嶋本・赤須・吉見常任理事，
田畑・落合・山中理事，野尻課長，
田崎係長

お知らせ

宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防の 取組みに係る医療機関対象調査について

○ 医療機関対象調査に関する協力依頼

1. 調査目的

県内の糖尿病に関する取組みを評価するため、他機関（医療機関、市町村など）との連携状況など、各医療機関における取組み状況を把握することを目的に調査を実施することとしました。

2. 実施主体

宮崎県糖尿病・慢性腎臓病（CKD）対策検討会

3. 対象医療機関

宮崎県内に住所のある病院および診療所 ※小児科単科医療機関除く

4. 調査方法（回答先）

同封の返信用封筒にて公益財団法人宮崎県健康づくり協会へ返送をお願いします。

5. 調査期間

令和5年4月初旬に各医療機関へ調査票を送付～令和5年4月29日(土)締切り

6. 問合せ先

宮崎県福祉保健部健康増進課 がん・疾病対策担当

県内の実態を知るために重要な調査となっております。
調査回答にご協力よろしくお願いいたします。

○ 宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防の取組みとは

- ・糖尿病患者数の増加が全国的な課題となっており、人工透析の新規導入の最大の原因が糖尿病性腎症であることから、宮崎県医師会、宮崎県歯科医師会、宮崎県糖尿病対策推進会議、宮崎県慢性腎臓病対策推進会議、宮崎県保険者協議会、宮崎県にて「宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防指針（第一期改定版）」（以下、「指針」という）を策定しています。

〔指針の主な内容〕

- ◆ 糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防に取り組む各機関・団体の役割
- ◆ 健診受診勧奨や医療機関への受診勧奨を行う際の対象者の選定基準
- ◆ かかりつけ医から専門医への紹介の基準
- ◆ 治療中の方に対する保健指導の適用の基準 など

※ 県庁ホームページに掲載

<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kenkozoshin/kurashi/hoken/20170818143135.html>

- ・かかりつけ医、糖尿病専門医、腎臓病専門医、医療保険者および行政機関が互いに協働し、一体的に取組みを推進できるよう、県全体の会議体として、「宮崎県糖尿病・慢性腎臓病（CKD）対策検討会」を設置し、二次医療圏単位（県保健所主体）で「糖尿病発症予防・重症化予防対策協議会」を設けています。
- ・「糖尿病性腎症重症化予防に関する研修会」を開催し、市町村保険者と医療機関の連携強化および保健師の指導力向上を図っています。



県庁ホームページ

○ 全体に関しての問い合わせ先

宮崎県福祉保健部健康増進課 がん・疾病対策担当 TEL0985-26-7079, FAX0985-26-7336

九州医師会連合会第405回常任委員会

と き 令和5年2月11日(土・祝)

ところ ホテル日航大分オアシスタワー

1 開 会

2 九州医師会連合会長挨拶（大分県河野会長）

3 報 告

1）第122回九州医師会連合会総会・医学会及び関連行事について（大分）

① 参加者数について

総会・医学会227名、分科会1,077名の参加を得て盛会であった旨の報告が行われた。

② 宣言・決議の取り扱いについて

実現に向け内閣総理大臣をはじめ政財界関係者198名に宣言・決議を送付した旨の報告が行われた。

2）隣接ブロック当番県・次期当番県医師会長会議について（大分）

12月17日(土)に近畿（兵庫・滋賀）、中四国（香川・広島）、九州（大分・長崎）の各ブロック担当県などが参加して意見交換を行った旨の報告が行われた。

3）第11回日本医師会赤ひげ大賞における受賞者に対する慶祝について（大分）

九州の関係者6名に対し祝電を贈った旨の報告が行われた。

4）その他

4 協 議

1）第153回日本医師会臨時時代議員会及び九州ブロック日医代議員連絡会議（3月26日(日)日医）の開催について（大分）

3月26日(日)の日医臨時時代議員会に先立ち、連絡会議を開催すること、代表質問の

取扱いについては、九医連会長および副会長で対応を検討し、あらためて提案することが承認された。

2）九州医師会連合会第406回常任委員会（6月3日(土)大分市）の開催について（大分）

6月3日(土)に九医連常任委員会を開催することが承認された。なお、3月26日(日)の日医臨時時代議員会で定款変更（常任理事の増員など）が承認されれば、日医常任理事候補者などについても検討することとなった。

3）九州ブロック日医代議員連絡会議（6月3日(土)大分市）の開催について（大分）

九州各県医師会の意向をふまえ、①勤務委員会、②地域医療対策委員会の報告をお願いすることが承認された。

4）九州ブロック日医代議員連絡会議懇親会（6月24日(土)東京都内）並びに同連絡会議（6月25日(日)）の開催について（大分）

6月24日(土)に懇親会、6月25日(日)に連絡会議を開催することが承認された。

5）日本医師会年金委員会委員の推薦について（大分）

引き続き、西 秀博 先生（福岡）を推薦することが承認された。

6）入国者収容所等視察委員会委員の推薦について（大分）

引き続き、平安 明 先生（沖縄）を推薦することが承認された。

7）その他

5 その他

案は鹿児島が作成することなどが承認された。

1) 医療DXの基盤整備に係る継続的な財源
確保について（鹿児島）

導入後の維持費などの財源確保を含め日
医を通じて国に要望すること、要望書の原

6 閉 会

出席者－河野会長，竹崎局長

医療事故調査制度

宮崎県医師会 相談窓口電話 0985-22-5118

宮崎県医師会は支援団体として，県内の医療機関をサポートいたします。医療事故の判断に迷った時，また，医療事故と判断した時は，宮崎県医師会までご連絡ください。

【受付時間】

平日の8時30分から18時，土曜日8時30分から12時30分の時間帯は，県医師会事務局の代表電話（0985-22-5118）で対応いたします。

時間外または日曜祝日などで県医師会が対応できない場合は，国が指定した東京の「医療事故調査・支援センター相談専用電話（03-3434-1110）」にご連絡ください。

【制度の目的】

本制度は医療法の「第3章医療の安全の確保」に位置づけられており，6条の11において「病院等の管理者は，医療事故が発生した場合には，厚生労働省令で定めるところにより，速やかにその原因を明らかにするために必要な調査（「医療事故調査」という）を行わなければならない」と規定されています。本制度は，医療の安全のための再発防止を目的とし，原因を調査するために，医療機関が自主的に医療事故を調査し，再発防止に取り組むことを基本としており，責任追及を目的としたものではありません。

日医インターネットニュースから

■コロナ対応は「幅広い医療機関」で — 政府、5類移行の方針発表 —

政府は3月10日、新型コロナウイルスの5類移行に伴い、医療提供体制や診療報酬特例措置の見直し方針を発表した。

コロナ患者の対応は「限られた医療機関」から「幅広い医療機関」に移行し、入院は全病院約8200施設、外来は約6万4000施設で対応する体制を目指す。診療報酬は暫定的な措置として特例を見直し、2024年度同時改定で、コロナ対応を組み込んだ新たな報酬体系にする方針だ。病床確保料は縮小する。

入院の移行に当たっては都道府県に対し、9月末までの「移行計画」を、4月中に策定するように求める。約3000の重点医療機関などは、重症者・中等症Ⅱの患者の受け入れに重点化する。それ以外でコロナ対応の経験がある約2000医療機関には、軽症・中等症Ⅰの患者受け入れを促す。特に高齢者を中心に、地域包括ケア病棟や地域一般病棟での受け入れを推進する。経験がない医療機関にも受け入れを促し、全病院での対応を目指す。

入院調整は、行政から医療機関間に段階的に移行する。軽症等の患者から開始し、今秋以降は重症者等の患者も医療機関間で調整することを基本とする。

●病床確保料は補助上限数を見直し

病床確保料は休止病床の補助上限数を見直した上で、単価をおおむね半減させる。当面、9月末まで継続する。現在、補助は即応病床1床当たり休床2床が上限だが、1床に見直す。現在は1床当たり4床が上限のICU・HCUは2床を上限とする。

見直し後の1日当たりの単価は、一般病院で▽ICU15万1000円（現在は30万1000円）▽HCU10万6000円（21万1000円）▽一般病床3万6000円（7万1000円）—とする。特定機能病院等は▽ICU21万8000円（43万6000円）▽

HCU10万6000円（21万1000円）▽一般病床3万7000円（7万4000円）—となる。

新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく臨時医療施設は「廃止が基本」とした上で、必要な機能は当面存続する。救急医療は、電話などによる相談体制（＃7119、＃8000など）を維持・強化した上で、救急車利用マニュアルなどを引き続き周知する。

●外来、「かかりつけ患者」以外も対応を

外来は、コロナ前に季節性インフルエンザを診療していた医療機関を中心に対応する体制を目指す。都道府県は地域の医師会と連携し、受け入れをかかりつけの患者に限定している医療機関に対して、患者を限定しないよう促す。対応する医療機関名を公表する仕組みは当面、継続する。新たに対応する医療機関の設備整備や个人防护具の確保を支援するほか、「診療の手引き」や感染対策の見直し、応召義務の整理などについて啓発資料を作成して周知する。

（令和5年3月14日）

■物価高騰に医療機関へ支援メニューも — 政 府 —

政府の物価・賃金・生活総合対策本部は3月22日、物価高騰に対する追加策を決定した。松野博一官房長官は、年度内にコロナ対策と併せて2兆円強の予備費を措置すると表明した。「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」に1兆2000億円を積む。このうち、都道府県などが実施する「推奨事業メニュー」に7000億円を措置する。メニューには、医療・介護施設等に対する支援も盛り込んでいる。

1兆2000億円のうち、5000億円は「低所得世帯支援枠」とし、住民税非課税世帯1世帯当たり3万円を目安に支援する。支援の具体的内容は自治体が決める。

交付金は物価高騰対策として昨年9月に設け、6000億円を措置した。今年1月末時点で、

地方公共団体1772団体（都道府県47団体，市町村1725団体）に，約5564億円（都道府県約3034億円，市町村約2530億円，予定を含む）を交付している。

会議後に会見した後藤茂之経済再生担当相は「地域の実情に応じたきめ細やかな支援を一層強化する」と述べた。

●コロナ緊急包括支援交付金，増し検討

1兆2000億円以外の部分で，「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」の積み増しも検討している。低所得の子育て世帯に対する特別給付金の支給なども行う。

（令和5年3月24日）

■光ディスク請求，「オンライン」移行を — 厚労省が方針 —

厚生労働省の社会保障審議会・医療保険部会（部会長＝田辺国昭・国立社会保障・人口問題研究所長）は3月22日，オンライン請求の割合を100%に近づけていくためのロードマップを了承した。光ディスクなどの請求を，原則として2024年9月までにオンライン請求に移行することが柱だ。厚労省は今年末までオンライン請求促進のための周知を集中的に進めるほか，関連省令の改正を行う構えだ。

ロードマップ作成は，政府が昨年6月に閣議決定した「規制改革実施計画」に盛り込んでいた。現状では，光ディスクなどで請求している施設は全体の27%に当たる。オンライン以外の方法で請求している医療機関を対象に，厚労省が実施したアンケートでは，光ディスクなどで請求している施設の約半数が23年度中にオンライン請求を開始予定だった。

●新規適用は来年4月に終了

今年4月以降，オンライン資格確認システム導入が原則義務化となる。これを機に，光ディスクなどで請求している施設にもオンライン請求に対応できる回線が整備されることも踏まえ，厚労省は24年9月までに原則オンライン請求に移行することを提案した。

24年4月には，光ディスクなどによる請求の新規適用を終了。省令を改正し，光ディスクなどによる請求を「通常の請求方法」という位置付けから改める。24年9月までを経過措置期間と位置付ける計画だ。

これにより，全てのオン資導入済みの医療機関などが，オンライン請求に移行することを目指す。経過措置期間後も光ディスクなどによる請求を行う施設には，移行計画の提出を求め，1年単位の経過的な取り扱いとする。今後の周知活動では，今年末までにオンライン請求を開始する旨を届け出ている場合，診療報酬の「医療情報・システム基盤整備体制充実加算」を算定しやすくなっていることも広報していく考えだ。

紙レセプトで請求している施設については，「レセコン未使用」の場合，24年4月から新規適用を終了する。「高齢医師」の場合，すでに新規適用は行っていない。紙請求を続ける場合は，改めて当初の要件を満たしている旨の届け出を求める。

部会の議論では，厚労省の提案に賛同する声が大半を占めた。佐野雅宏委員（健保連副会長）は「（オンライン請求100%という）目標の早期達成がポイントだ」と述べ，新規適用終了の時期前倒しも含めた検討を求めた。このほか，早期実現に向けた周知徹底を厚労省に求める意見が多かった。（令和5年3月28日）

日医インターネットニュースは，日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁，月2桁，日2桁」の6桁の数字（半角）

医師国保組合だより

令和5年度の保険料賦課額について

第128回通常組合会において、当組合の財政運営安定化を図るため、保険料賦課額の規約の一部改正が可決承認されました。令和5年4月分より、下記のとおり変更になることをご報告申し上げます。

令和4年度保険料（～令和5年3月分）

	医療給付費分 保険料	後期高齢者支援金分 保険料	介護納付金分保険料 (40歳以上65歳未満)	月額保険料 (40歳以上65歳未満)
A会員組合員	38,000円	4,600円	5,800円	48,400円
B会員組合員	25,000円	4,600円	5,800円	35,400円
家 族	3,500円	4,600円	5,800円	13,900円
高齢組合員 (75歳以上)	3,000円	—	—	—

令和5年度保険料（令和5年4月分～）



	医療給付費分 保険料	後期高齢者支援金分 保険料	介護納付金分保険料 (40歳以上65歳未満)	月額保険料 (40歳以上65歳未満)
A会員組合員	38,000円※1	4,800円	5,800円	48,600円
B会員組合員	28,000円※1	4,800円	5,800円	38,600円
家 族	3,500円	4,800円	5,800円	14,100円
高齢組合員 (75歳以上)	3,000円	—	—	—

※1 組合員の医療給付費分保険料については、条件に該当し申請した場合は下表の保険料となります。
条件：前々年分の総収入金額が5,000万円未満、かつ、課税所得金額が2,000万円未満

令和5年度保険料減額表 ※一律3,000円の引き上げ

区分	課税所得金額	医療給付費分保険料（月額）	
		A会員組合員	B会員組合員
1	1,700万円以上 2,000万円未満	36,000円	26,000円
2	1,500万円以上 1,700万円未満	33,000円	23,000円
3	1,300万円以上 1,500万円未満	30,000円	21,000円
4	1,000万円以上 1,300万円未満	28,000円	19,000円
5	800万円以上 1,000万円未満	26,000円	18,000円
6	600万円以上 800万円未満	23,000円	17,000円
7	400万円以上 600万円未満	20,000円	16,000円
8	200万円以上 400万円未満	18,000円	15,000円
9	100万円以上 200万円未満	16,000円	13,000円
10	50万円以上 100万円未満	13,000円	11,000円
11	50万円未満	8,000円	8,000円

未就学児に係る子育て世帯への経済的負担の軽減措置について

国の方針により、毎年11月30日時点において未就学児^{※2}である被保険者が属する組合員の世帯については、国から未就学児1人あたり12,000円の財政支援が行われます。当組合でも、第128回通常組合会にて、令和4年度より実施することが可決承認され、対象世帯には、別途郵送にてご案内をしておりますので、ご確認ください。

※2 6歳に達する日以後の最初の3月31日以前である被保険者

出産育児一時金の増額について

被保険者が出産されたときに組合から支給する出産育児一時金について、出産に係る経済的負担を軽減するため、以下のとおり増額することが第128回通常組合会にて可決承認されました。

令和5年4月1日以降に出産された被保険者から適用となります。

	改正後	改正前
産科医療補償制度対象の場合	500,000円	420,000円
産科医療補償制度対象外の場合	488,000円	408,000円

国民健康保険法第116条にかかる届出について

ご家族の加入は、組合員と同一世帯であることが原則です。しかし、修学のため親元を離れて（住民票を移している方のみ）住む方は届出が必要です。本届出に関するご案内は、3月中旬に該当する組合員宛に送付しておりますので、ご確認ください。

資格喪失の手続きについて

ご家族が、卒業・就職などで医師国保組合から新しい保険に加入された場合は、資格喪失の手続きが必要です。自動的に喪失されませんのでご注意ください。

【提出書類】

- ・国民健康保険組合資格喪失届
- ・当組合の被保険者証 ※有効期限が切れていない被保険者証は回収いたします
- ・次に加の保険の加入証明書または新しい被保険者証の写し

保健事業に関するお願い

令和4年度中に当組合の各種保健事業を実施された組合員および該当するご家族の方で、健康診断個人票や各種申請書が未提出の方は、5月19日(金)（必着）までにご提出ください。提出期日を過ぎますとお支払いができませんのでご注意ください。

※特に、特定健診対象者（40～74歳の方）は健康診断個人票をご提出ください。

※「特定保健指導利用券」が届いた方は必ず保健指導を受けてください。

また、今年度も昨年度と同じく保健事業を実施いたします。5月に「保健事業のご案内」を組合員の先生方宛に送付する予定ですが、4月から受診されても結構です。その際には、当組合ウェブサイトから申請書をダウンロードしてご請求くださいますようお願い申し上げます。

◎当組合保健事業一覧

健康診断	歯科健康診査
胃・大腸内視鏡検査の補助	肺炎球菌ワクチン接種補助
低線量ヘリカルCT肺がん検診	インフルエンザワクチン接種補助
脳ドックなどの補助	乳がん検診（マンモグラフィ検査）

（お知らせ） 届出様式は、宮崎県医師国民健康保険組合ウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

お知らせ

令和5年度 宮崎県医師会諸会費について

令和5年度の諸会費は、宮崎県医師会会費賦課徴収規程および会館維持管理負担金等賦課徴収規程に基づき、下記のとおりとなりますのでお知らせいたします。

区 分		A 会 員 病院、診療所の開設者、管理者など	B 会 員 勤務医	卒後5年間 含医師法に基づく研修医
県医会費	均等割	月額 7,000 円	月額 3,000 円 ただし宮大医会員は 月額 1,000 円	免 除
	所得割	別表①	—	—
県医会館維持 管 理 負 担 金		別表②	—	—
県医会館返済 資 金 負 担 金		別表③	—	—
入会時負担金		新規 A 会員 500,000 円 管理継承者 100,000 円 相続継承者 50,000 円	5,000 円	免 除
日 医 会 費		A①会費 ※医賠償保険加入 126,000 円(年額) 第1期 42,000 円(5月徴収) 第2期 42,000 円(8月徴収) 第3期 42,000 円(12月徴収)	B 会 費 ※医賠償保険非加入 28,000 円(年額) 第1期 9,000 円(5月徴収) 第2期 10,000 円(8月徴収) 第3期 9,000 円(12月徴収) A②(B) 会費 ※医賠償保険加入 <u>令和5年4月1日現在 31 歳以上</u> 68,000 円(年額) 第1期 22,000 円(5月徴収) 第2期 24,000 円(8月徴収) 第3期 22,000 円(12月徴収) <u>令和5年4月1日現在 30 歳以下</u> 39,000 円(年額) 第1期 13,000 円(5月徴収) 第2期 13,000 円(8月徴収) 第3期 13,000 円(12月徴収)	B 会費 ※医賠償保険非加入 免除 A②(B) 会費 ※医賠償保険加入 <u>令和5年4月1日現在 31 歳以上</u> 40,000 円(年額) 第1期 13,000 円(5月徴収) 第2期 14,000 円(8月徴収) 第3期 13,000 円(12月徴収) <u>令和5年4月1日現在 30 歳以下</u> 15,000 円(年額) 第1期 5,000 円(5月徴収) 第2期 5,000 円(8月徴収) 第3期 5,000 円(12月徴収)
				C 会費 ※医賠償保険非加入 免除 A②(C) 会費 ※医賠償保険加入 15,000 円(年額) 第1期 5,000 円(5月徴収) 第2期 5,000 円(8月徴収) 第3期 5,000 円(12月徴収)

別表①(県医所得割会費)

区 分	所得割算定基礎額	所得割会費月額
1	1,000万円未満	—
2	1,000万円以上 2,000万円未満	1,000円
3	2,000万円以上 3,000万円未満	2,000円
4	3,000万円以上 5,000万円未満	3,000円
5	5,000万円以上 10,000万円未満	4,000円
6	10,000万円以上	5,000円

別表②(県医会館維持管理負担金)

区 分	所得割算定基礎額	所得割会費月額
1	1,000万円未満	1,500円
2	1,000万円以上 2,000万円未満	2,000円
3	2,000万円以上 3,000万円未満	2,500円
4	3,000万円以上	3,000円

別表③(県医会館返済資金負担金)

区 分	所得割算定基礎額	所得割会費月額
1	1,000万円未満	1,500円
2	1,000万円以上 2,000万円未満	2,000円
3	2,000万円以上 3,000万円未満	2,500円
4	3,000万円以上	3,000円

※会費減免の申請について

(1) 高齢を事由とする場合

- ①県医会費は、年齢が満80歳以上で県医師会に20年以上在籍している会員が対象です。
- ②日医会費は、年齢が満83歳以上で日本医師会に20年以上在籍している会員が対象です。
- ③令和4年度以前に会費減免を受けた方は、申請内容（例：会員区分、医賠償保険加入の有無など）に変更がない限り、申請は不要です。

(2) 疾病の事由による場合

- ①疾病による会費減免は、診断書（写しでも可）の添付が必要です。
- ②令和4年度に会費減免を受け、令和5年度も会費減免を継続する場合、あらためて申請が必要です。
この場合も診断書（写しでも可）の添付が必要です。

(3) 出産育児の事由による場合

- ①出産育児の事由による会費減免は出産が確認できる書類（写しでも可）の添付が必要です。
- ②対象会員は女性会員です。開業医・勤務医は問いません。育児休業取得・未取得は問いません。
- ③減免期間は、日医会費は出産日の属する年度の翌年度1年間です。県医会費は申請を受け付けた翌月から1年間です。

医師年金

<認可特定保険業者>公益社団法人 日本医師会

ご加入のおすすめ

加入資格 64歳6カ月未満の日本医師会会員（会員区分は問いません）

☑ 年金検討チェックリスト

- ☐ 公的年金では現役時代の生活水準を維持できない
- ☐ コツコツ積立てて十分な年金を確保しておきたい
- ☐ 一生涯受け取れる年金が望ましい
- ☐ 受け取れる年金の額を効率的に増やしたい
- ☐ 医師独自のライフスタイルにあった年金がいい
- ☐ 加入前に受取年金額のシミュレーションを確認したい

1つでも該当したら…

医師年金ご加入をおすすめします！

医師年金ホームページで、
簡単シミュレーション！

医師年金 検索

<http://www.med.or.jp/nenkin/>

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、簡単に受取年金月額のシミュレーションができます。
ぜひお試しください。

個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら



公益社団法人
日本医師会 年金福祉課

TEL : 03-3942-6487(直通)

FAX : 03-3942-6503

受付時間：午前9時30分～午後5時（平日）

E-mail : nenkin@po.med.or.jp

保険料からプラン作成

● 基本：月払	加算：月払
加算年金 (10 万円)	月払保険料 60,000 円
基本年金	月払保険料 12,000 円
支払期間 19 年 2 ヶ月 (230 期)	
合計月払保険料	72,000 円

設定条件をご確認ください。

試算日	令和 2 年 9 月 10 日
生年月日	昭和 50 年 1 月 1 日
試算日年齢	45 歳
加入申込期限	令和 2 年 10 月 15 日
加入予定年月	令和 2 年 11 月
加入時年齢	45 歳 10 ヶ月
加算払込開始年月	令和 2 年 11 月
年金受取開始年月	令和 22 年 1 月
年金受取開始年齢	65 歳
払込保険料累計	16,560,000 円

注意事項です。お読みください。

- ・加入申込期限は、15日が土日・祝祭日の場合は、その前日となります。
- ・「終身年金」は、加入者ご本人であれば一生涯受け取ることができます。
- ・「保証期間15年」では、受給者ご本人が保証期間中にお亡くなりになった場合、15年の残りの期間について、ご遺族の方が必ず受け取ることができます。
- ・「受取コース」の選択(81～84)は、受取開始の時に決めます。
- ・受取開始年齢は、75歳まで延ばせます。
- ・「受取年金月額」は概算です。現在は年率1.5%での計算となっており、将来、年金の制度改定が行われる時は、変更になる場合があります。

● 81コース	
加算年金	保証期間15年 64,600 円
基本年金	保証期間15年 12,900 円
合計	
15年受取総額	77,500 円

● 82コース	
加算年金	5年確定型 276,500 円
基本年金	保証期間15年 12,900 円
合計	
15年受取総額	13,950,000 円

● 83コース	
加算年金	10年確定型 143,400 円
基本年金	保証期間15年 12,900 円
合計	
15年受取総額	18,912,000 円

● 84コース	
加算年金	15年確定型 99,100 円
基本年金	保証期間15年 12,900 円
合計	
15年受取総額	20,160,000 円

追 悼 の こ と ば

西都市西児湯医師会

佐藤重國先生

(大正14年12月6日生 97歳)

弔 辞

本日ここに、今は亡き佐藤重國先生の告別式が執り行われるにあたり、西都市西児湯医師会を代表いたしまして、先生のご霊前に謹んでお別れの言葉を申し上げます。



先生は、ご自宅で静養されておられると伺っており本当にお元気でお過ごしだと思っておりましたところ、令和5年2月21日午前7時26分、ご逝去されたとの突然の悲報に驚愕し、会員一同、深い悲しみに包まれているところでございます。

享年97歳にして先生は遼遠なる安息の地へと旅立ってしまわれたのであります。

私ども医師会の重鎮として会員が等しく尊敬申し上げます先生をここに失ったことは、誠に痛恨の極みであり、長寿を全うされたとはいえ、奥様、ご子息をはじめ、ご親族の皆様のご心の中いかにばかりかとお察し申し上げ、心から哀悼の意を表する次第でございます。

思い起こせば先生は、大正14年12月6日熊本県熊本市で生を受けられまして、医学の道に志されました。鹿児島県立医学専門学校、現在の鹿児島大学医学部を昭和27年3月ご卒業され、卒業後は昭和28年7月から熊本市今山産婦人科の勤務、更には加世田市楠元産婦人科、薩摩郡薩摩町立中津川診療所、昭和35年5月西都市岡本病院にて勤務されました。昭和35年11月西都市小野崎にて佐藤産婦人科医院を開設、長年にわたり地域医療に貢献し、平成24年ご高

齢により休診したのち、平成29年10月31日に閉院されました。

この間、幼稚園児の健康診断、小学校児童の予防接種、20年以上産業医としても積極的に意を注がれ、平成14年宮崎県公衆衛生功労者賞、平成15年には公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰を受賞されるなど輝かしい功績を残されておられます。

また、西都市の収容施設のベトナム難民の出産援助、市民講座の講師として県民健康教育推進に貢献、先生の温厚誠実なお人柄は、地域住民にも敬愛され厚く信望を集めておられました。

医師会には昭和35年7月に入会され、当医師会活動におかれましても、ご多忙な診療の傍ら、副議長、監事、理事と歴任され、日本母性保護医協会宮崎支部医事共済会評議委員、医事紛争処理委員としても業務運営に力を注がれました。

私たち会員は現在の厳しい医療制度の中にあっても地域住民の健康を第一に考えて、医師としての倫理を保ちながら地域住民の医療・保健、福祉の発展のために日々の診療を行ってまいりたいと思いますので、どうかこれからも天国から私たち会員を見守っていただきたいと思います。

佐藤先生、惜別の情尽くしえませんが、先生の長年のご功績、ご功労に敬意と感謝を表しつつ、心からご冥福を申し上げ、私たち会員一同微力ながら地域医療の発展に努めることをお誓いし、お別れの言葉といたします。

佐藤重國先生、どうぞ安らかに眠りください。

令和5年2月21日

一般社団法人 西都市西児湯医師会

会長 松本 英裕

.....
あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
c	e	a	b	a, b, d	a	c	a	a	b



令和5年2月7日(火) 第15回常任理事協議会

医師会関係
(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県健康づくり推進協議会委員の推薦について

→県民の健康づくりを計画的、効果的に推進するための基本方針や施策を検討するために設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き山村副会長を推薦することが承認された。

②特別支援学校医療的ケア運営協議会に係る委員の御推薦について

→医療的ケア実施校における総括的な管理体制の構築に当たり、実施体制を点検し、関係機関との連絡調整を図るための会議で、引き続き高木常任理事を推薦することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

①6/3(土) (ニューウェルシティ宮崎) 第12回 2023年度「在宅を支える多職種交流会」名義後援のお願いについて

→「コロナ禍がもたらしたもの」をテーマに在宅医療・ケア関係職種を対象に開催される多職種の交流会で、名義後援を行うことが承認された。

3. 宮崎県医師会館施設使用願いについて

県透析医会から、南海トラフ地震による広域災害に備えての机上訓練を行うために日曜日の県医師会館の使用許可願いがあり、使用目的を勘案し許可することが承認された。

4. 3/17(金) 医療従事者の安全確保に関する都道府県医師会担当理事連絡協議会の開催について

医療従事者の安全確保に関し、関係省庁や先行して取組みを行っている医師会の報告等が行われる協議会で、小牧副会長が出席することが承認された。

5. 診療所の光熱費の変動に関する実態調査について

診療所の光熱費高騰の実態と経営への影響を把握するための調査で、対象となる役員が協力することが承認された。

6. その他

①新型コロナウイルス感染症について

→新型コロナウイルス感染症が5類に移行された場合に予想される影響について説明があり、今後の対応について協議を行った。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 1月末日現在の会員数について

3. 2/2(木) (県医) 日医有床診療所委員会について

4. 2/1(水) (県防災庁舎) 県メディカルコントロール協議会総会について

5. 2/6(月) (県防災庁舎) 県障害者施策推進協議会について

6. 2/6(月) (県防災庁舎) 県新型コロナウイルス感染症対策協議会について

7. 2/2(木) (県防災庁舎) 県肝炎対策懇話会について

8. 2/3(金) (県企業局) 県精神科救急医療システム連絡調整委員会について

9. 2/6(月)(県医)県臨床研修・専門研修運営協議会ワーキンググループについて
10. 2/2(木)(県看護等研修センター)県看護協会新人看護職員研修推進協議会について
11. 2/5(日)(宮崎学園短大)日医医療秘書認定試験について
12. 2/6(月)(県医)県認知症疾患医療センター合同会議について
13. 2/1(水)日本医学会総会拡大登録委員会について
14. 2/4(土)(県医)母体保護法指定医師研修会について
15. 2/1(水)(県医)スポーツドクター連盟総会・健康スポーツ医学セミナーについて
16. 2/7(火)(県医)県口コモティブシンドローム対策協議会について

令和5年2月14日(火) 第17回全理事協議会

医師会関係
(議決事項)

1. 带状疱疹ワクチン予防接種への助成に関する要望書について

带状疱疹ワクチンは発症予防の有効性は明らかであるのかかわらず接種費用が高額であることから、住民に予防接種費用の助成を行う市町村に対し補助を行うよう県医師会から県に対して要望することと、郡市医師会も市町村に対して要望するように依頼をすることが承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県感染症対策審議会委員の推薦について

→感染症対策の総合的推進を図るために設置されている審議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き吉田常任理事と、新たに宮崎大学医学部の宮崎泰可教授を推薦することが承認された。

②宮崎県医療費適正化計画策定検討委員会委員の推薦について

→高齢期における適切な医療の確保の観点から策定される宮崎県医療費適正化計画について、令和6年4月からの新たな計画の策定のために設置される委員会で、地域医療担当の金丸常任理事を推薦することが承認された。

3. 2/25(土)(県医)宮崎県医師会創立134周年記念医学会/県民健康セミナーの開催について

創立記念医学会と県民健康セミナーを併催し、医学賞授賞式、医学賞受賞者講演、特別講演を行うことと、WEBと現地のハイブリット方式で開催すること、また、開会前に県医師会役員が別会場で医神祭を執り行うことが承認された。

4. 4/8(土)(県医)令和5年度All Miyazaki研修医スタートアップセミナーの開催について

本県で臨床研修を始める先生方をお祝いする趣旨で開催するセミナーで、プログラムや役割分担等を確認し開催することを承認した。なお、昨年に引き続き飲食を伴う祝賀会は行わない。

5. 審査委員の推薦について※辞任に伴う

現委員1名の辞任に伴う推薦依頼で、内科医会推薦の医師1名を推薦することが承認された。

6. 審査委員の推薦について※任期満了に伴う

任期満了に伴う推薦依頼で、県医選任基準(内規)に従い、本会から高木常任理事と嶋本常任理事の2名を推薦すること及び、今後、郡市医師会に続いて各専門分科医会に推薦依頼を行うことが承認された。

7. 業務委託について

①小児等への新型コロナウイルスワクチン接種体制構築業務の委託について

→小児等への新型コロナウイルスワクチ

ン個別接種を行う医療機関が小児及びその保護者等へ詳細な説明を行う等の接種体制を構築する業務で、契約を締結することが承認された。

8. 4/2(日) 令和5年度学校保健講習会の開催について

学校保健に従事する上で必要な知識を修得することを目的にオンラインで開催される講習会で、高木常任理事の出席と郡市医師会に案内することが承認された。

9. 3/25(土) (東京) 全国医師会医療秘書学院連絡協議会「令和4年度第2回常任委員会および第2回運営委員会」の開催について

医療秘書学院を設置する都道府県医師会をもって組織される連絡協議会で、山村副会長が出席することが承認された。

10. その他

- ① 5月13日(土) (シーガイア) 各郡市医師会(連盟) 役員等連絡協議会の開催について
→松本日医会会長を講師としてお招きし開催することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 2/8(水) (県医) 日医年金委員会について
3. 2/8(水) (支払基金) 支払基金審査運営協議会について
4. 2/11(土) (大分) 九医連常任委員会について
5. 2/13(月) (県防災庁舎) 県社会福祉審議会について
6. 2/10(金) (日医) 日医医師会共同利用施設検討委員会について
7. 2/8(水) (県総合保健センター) 宮崎東諸県地域医療構想調整会議について
8. 2/11(土) (大分) 九医連各種協議会について
9. 2/13(月) (県防災庁舎) 県循環器病対策推進協議会について
10. 2/14(火) (県企業局) 県地域医療対策協議会について

11. 2/10(金) (県看護協会) 県ナースセンター事業運営委員会について
12. 2/10(金) (県医) 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会について
13. 2/12(日) (県医) 緩和ケアチーム研修会について
14. 2/9(木) (県医) 都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会について
15. 2/11(土)・2/12(日) (熊本) 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・学術大会について
16. 2/12(日) (日医) 母子保健講習会について
17. 2/2(木) (県医) 勤務医部会理事会・後期講演会について
18. 2/13(月) (県防災庁舎) 県防災会議について
19. 2/13(月) (県医) 救急災害医療対策委員会について

令和5年2月28日(火) 第18回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

- ① 全国健康保険協会宮崎支部柔道整復師施術療養費審査委員会の審査委員に係る推薦依頼について
→柔道整復師の施術に係る療養費支給の審査を行う委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、再任の方向で現委員及び推薦母体の医会に確認の上推薦することが承認された。
- ② 児童扶養手当の支給に関する障害判定を行う非常勤医師(嘱託医)の推薦について
→児童扶養手当の支給に関する障がい判定を行う非常勤医師について、新たに「視覚障害」に関する医師の推薦依頼があり、眼科医会に推薦を依頼することが承認された。

③宮崎県医療審議会医療計画部会の委員候補者の推薦について

→第8次医療計画の策定のために新たに設置される部会の委員の推薦依頼があり、山村副会長と金丸・石川常任理事を推薦することが承認された。

2. トルコ・シリア地震への医療支援について

トルコ・シリア地震の被災者への医療支援を目的とした支援金について、本会から寄付をすることと、日医が開設した支援金受付口座を郡市医師会及び会員に案内することが承認された。

3. 4/13(木) 都道府県医師会広報担当理事連絡協議会の開催について

日医の広報活動の説明や都道府県医師会の広報の取組の発表が行われる連絡協議会で荒木常任理事が出席することが承認された。

4. 令和5年度事業計画(案)について

事業計画の確認が行われ、担当理事を中心に再度見直しを行った上で、最終的には3月14日の法定理事会に上程することが承認された。

5. 令和4年度健康教育事業費補助金交付申請について

健康増進や疾病対策についての正しい知識の啓発に取り組む郡市医師会及び専門分科医会へ補助金を交付する事業で、申請のあった西都市西児湯医師会と県皮膚科医会に交付することが承認された。

6. 宮崎県災害医療コーディネーター(第6期)の推薦について

任期満了に伴う推薦依頼で、各郡市医師会に推薦を依頼するとともに県医師会から担当理事を推薦することが承認された。

7. 後援・共催名義等使用許可について

①5/14(日)(宮交シティ)「みやざきナースToday2023」の名義後援について
→県民や看護職を希望している生徒等を

対象に、看護に対しての関心や理解を深めることを目的に開催するイベントで、名義後援を行うことが承認された。

8. 3・4月の行事予定について

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 2/21(火)(県医)日医理事会等について

3. 2/28(火)(県医)都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会について

4. 2/15(水)・2/20(月)(県医)広報委員会について

5. 2/25(土)・2/26(日)(県医)日医医療情報システム協議会について

6. 2/18(土) レジナビFairオンライン宮崎県2023～臨床研修プログラム～について

7. 2/16(木)(日医)日医医療秘書認定試験委員会について

8. 2/18(土)(シーガイア)病院部会・医療法人部会合同医療従事者研修会について

9. 2/17(金)(県医)介護保険に関する主治医研修会について

10. 2/24(金)(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

11. 2/22(水)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について

12. 2/18(土)(県医)産業医研修会について

13. 2/22(水)(県医)産業保健総合支援センター運営協議会について

14. 2/25(土)(県医)創立134周年記念医学会/県民健康セミナー及び医神祭について

15. 2/27(月)(県企業局)県公害健康被害認定審査会について

16. 2/16(木)(県防災庁舎)社会保険医療担当者の新規個別指導について

17. 2/20(月) 宮崎JMAT・宮崎JRAT合同研修会について

医師連盟関係**(議決事項)****1. 3/18(土)(JA-AZM)総務・支部長合同会議の開催について**

河野委員長の出席が承認された。

2. 3/24(金)(県医)宮崎県知事と宮崎県経済団体協議会との意見交換会について

河野委員長の出席が承認された。

3. 3/7(火)(東京)参議院議員自見はなこ政策セミナーについて

全世代型社会保障の構築に関する政策セ

ミナーで、協力することが承認された。

4. 3/13(月)(東京)敬人会勉強会について

G7広島サミットの歴史的な意義につい

て学ぶ勉強会で、協力することが承認された。

(報告事項)**1. 2/15(水)(自民党県連)自民党県連党紀委員会について**

宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「MMA交流(会員交流用)」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

◆MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供(各種通知文書、研修会の案内など)

対象：会員本人、医療機関代表のアドレスなど

◆MMA交流

目的：会員同士の意見交換、会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

◆登録方法について

県医師会事務局宛 office@miyazaki.med.or.jpにメールを送信してください。

折り返し、事務局から登録に関するメールを送信いたします。

災害が発生した場合、情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。

まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先：宮崎県医師会 学術広報課

TEL 0985-22-5118

医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1

登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2

専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3

日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

県 医 の 動 き

(3月)

1	(日医) 日医地域医療対策委員会 (山村副会長) 特定健康診査等従事者研修会 (Web会議) (会長他)
3	(福岡) 全国国保組合協会九州支部総会 (佐々木理事)
4	ICLS指導者養成ワークショップ (日医) 日医未来医師会ビジョン委員会 (大塚常任理事) 県産婦人科医会ひむかせミナー
5	ACLS研修会 県産婦人科医会ひむかせミナー
6	外国人患者対応に関する研修会 (Web会議) (金丸常任理事)
7	第16回常任理事協議会 (会長他)
8	支払基金審査運営協議会 (会長) 県アイバンク協会理事会 (Web会議) (会長)
9	県産婦人科医会全理事会 (Web会議) (嶋本常任理事他) 県リハビリテーション専門職協議会連絡会議 (石川常任理事)
10	(日医) 日医公衆衛生委員会 (峰松理事) 県准看護師試験委員会 (赤須常任理事) 医師国保組合通常組合会 (秦理事長他)
11	臨床検査精度管理調査報告会 (Web会議)
13	県がん診療連携協議会 (会長) 宮大医学部附属病院医師研修管理委員会 (会長)
14	県移植推進財団定例理事会 (小牧副会長) 治験理事会 (荒木常任理事他) 第4回理事会 (会長他) 第19回全理事協議会 (会長他)
15	日医医療経営検討委員会 (Web会議) (吉田常任理事) 県肝疾患診療連絡協議会 (Web会議) (小牧副会長) スポーツ・メディカル・サポート体制検討会 議 (会長他) 広報委員会 (荒木常任理事他) 県医療勤務環境改善支援センター運営協議会 (池井常任理事) 医学会誌編集委員会 (Web会議) (小牧副会長他)
16	県国民健康保険運営協議会 (小牧副会長) 県産婦人科医会働き方改革委員会 (Web会議) コロナ5類変更への対応に関する理事協議 (Web 会議) (会長他)
17	宮大経営協議会・学長選考・監察会議 (会長) 県地域医療オリエンテーション (金丸常任理事) 日医医師会共同利用施設検討委員会 (Web会 議) (市来常任理事) 医療従事者の安全確保に関する都道府県医師会 担当理事連絡協議会 (Web会議) (小牧副会長) (大分) 九医連事務局長連絡協議会

17	県外科医会冬期講演会 県感染症医療提供体制ワーキンググループ会 議 (Web会議) (吉田常任理事他)
18	日医医療事故調査制度に係る支援団体統括者 セミナー (Web会議) (金丸常任理事) 自民党県連総務・支部長合同会議 (河野委員長) (福岡) 九州医師協同組合連合会購買・保険部 会, 職員研修会 (市来専務理事)
20	人吉球磨圏域の地域産科中核病院への産科医 師確保に関する要望会 (会長) 県医医学会役員会 (Web会議) (会長他)
21	全国有床診療所連絡協議会役員会 (Web会議) (会長)
22	日医監事会 (会長) 日医役員勉強会 (会長) 日医理事打合せ (会長) 日医理事会 (会長) 広報委員会 (荒木常任理事他)
23	県健康づくり推進協議会 (山村副会長) 未来医師会ビジョン・自民党青年局意見交換 会 (Web会議) (大塚常任理事) 県臨床研修・専門研修運営協議会 (Web会議) (会長他) 医療安全対策Webセミナー (Web会議) (市来常任理事)
24	県知事と県経済団体協議会との意見交換会 (河野委員長) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (嶋本常任理事) 県外科医会理事会 (Web会議) (田畑理事)
25	(東京) 全国医師会医療秘書学院連絡協議会常 任委員会・運営委員会 (山村副会長)
26	(日医) 九州ブロック日医代議員連絡会議 (会長他) (日医) 日医臨時代議員会 (会長他)
27	各郡市医師会新型コロナウイルス感染症担当理 事連絡協議会/公衆衛生・感染症委員会 (Web 会議) (会長他)
28	医協理事会 (河野理事長他) 医協理事・運営委員合同協議会 (Web会議) (河野理事長他) 第20回全理事協議会 (Web会議) (会長他)
29	(日医) 日医地域医療対策委員会 (山村副会長) 労災診療指導委員会 (赤須常任理事他) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理 事会 (石川常任理事) 県母子保健運営協議会 (嶋本常任理事)
30	県健康づくり協会理事会 (山村副会長) 県新型コロナウイルス感染症対策協議会 (山村副会長他)
31	日医地域包括ケア推進委員会 (石川常任理事) 医師国保組合理事会 (秦理事長他) 県産婦人科医会医療保険委員会 (Web会議) (嶋本常任理事)

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和5年3月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 8人

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	4	1	3
放射線科	1	1	0
検診	2	0	2
老健	1	0	1

2. 斡旋成立件数 90人

	合計
令和4年度	5
平成16年度から累計	90

3. 求人登録 92件 317人

(人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	89	72	17	消化器外科	3	2	1
外科	26	21	5	乳腺外科	3	3	0
整形外科	31	24	7	健診	3	2	1
精神科	9	8	1	泌尿器科	5	3	2
脳神経外科	10	6	4	産婦人科	1	1	0
循環器科	11	8	3	検診	3	1	2
消化器内科	16	14	2	皮膚科	4	2	2
麻酔科	12	9	3	婦人科	2	2	0
眼科	9	7	2	呼吸器外科	4	3	1
放射線科	10	9	1	人工透析	8	6	2
小児科	4	2	2	リウマチ科	0	0	0
呼吸器科	2	2	0	臨床病理科	1	1	0
在宅診療	2	2	0	形成外科	2	1	1
総合診療科・内科	6	5	1	診療科目不問	3	3	0
脳神経内科	7	5	2	緩和ケア	1	1	0
呼吸器内科	9	8	1	内分泌糖尿病内科	2	2	0
リハビリテーション科	5	5	0	その他	5	5	0
救命救急科	9	9	0	合計	317	254	63

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼内,神内,総診,呼外,病理,乳外,整,麻,代内	9	常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	宮崎医療生活協同組合	宮崎市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急,緩和	13	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外,形成外,外,麻(いずれか)	2	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高岡町	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透(いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,リハ(いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	内,整	4	常勤・非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診	1	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	外,脳外,内,透,眼,皮,放,腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	内	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブ ベテスタクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230208	医) 社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社) 藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精, 内	2	常勤
230225	医) 社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230226	都城健康サービスセンター	都城市	放, 消内 (いずれか)	1	常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延岡市	内	2	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
160034	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消外, 消内	2	常勤
190086	医) 早田病院	延岡市	消内, 循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延岡市	産婦, 内, 小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延岡市	消内, 消外, 内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延岡市	内, 小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延岡市	精	1	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌, 透	4	常勤・非常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内, 外 (いずれか)	1	常勤
230219	延岡リハビリテーション病院	延岡市	内, 整, リハ	3	常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日向市	外, 整	4	常勤
210111	福) 恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内, 外, リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内, 整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内, 整	2	常勤
230200	医) おぎメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医) 洋承会 今給黎医院	日向市	内, 循内	2	常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内, 麻, 外, 眼, 健診	5	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診, 救急, 呼内, 循内, 神内, 整	12	常勤・非常勤
230223	医) 聖山会 川南病院	川南町	内, 腎内	3	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西都市	内, 外, 整, 総診, 透	5	常勤
230204	医) 昇山会 上山医院	西都市	内, 整 (いずれか)	1	非常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日南市	内	4	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串間市	精, 内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内, 外, 整, 在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内, 外, 総診, 消内, 腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日南市	外, 内	5	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230221	医) 文誠会 百瀬病院	日南市	内, 外, 消内	6	常勤・非常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小林市	内, 皮	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	救急, 総診, 放, 麻	6	常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小林市	外, 循内, 整, 脳外	9	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小林市	整, 内, 脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小林市	整, 内, 麻	5	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内, 外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内, 透	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内, 外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和5年3月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡ (612.77坪) 所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡ (691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり (20台) 所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡ (1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台) 所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 宮崎市上野町5-1 土地：1,260.55㎡ (381.98坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根5階建 1階 378.60㎡ 2階 391.80㎡ 3階 374.04㎡ 4階 374.04㎡ 5階 363.13㎡ 計1,881.61㎡ (570.18坪) ※駐車場あり (22台) 2階は事務所 3階は宿舍・寮8室使用可 4階は貸倉庫 所有者：宮崎市郡医師会員 谷口 二郎 たにぐちレディースクリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡ (501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり (50台) 所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡ (265.15坪) 建物：木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり (20台) 所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyout@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL： FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和5年3月28日

4			月		
1	土		18	火	13:00 日医理事打合会 (Web会議) 14:00 日医理事会 (Web会議) 19:00 広報委員会
2	日	10:00 日医学校保健講習会 (Web会議)			
3	月	14:20 産業保健総合支援センター辞令 交付式 19:00 県産婦人科医会医療対策委員会 (Web会議)	19	水	
4	火	18:30 第1回全理事協議会 19:00 役職員懇談会	20	木	19:00 県内科医会理事会 (Web 会議) 19:00 病院部会・医療法人部会 合同理事会 (Web会議)
5	水	19:00 医家芸術展世話人会			
6	木	14:00 日医有床診療所委員会 (Web会議) 15:00 日医予防接種・感染症危機管理 対策委員会 (Web会議)	21	金	11:00 (東京) 日本医学会総会 14:00 日本医学会総会産業医セ ッション (Web会議) 19:00 県外科医会理事会
7	金	19:00 県内科医会学術委員会 (Web会議)			
8	土	14:00 All Miyazaki研修医スタートアッ プセミナー	22	土	8:30 (東京) 日本医学会総会 9:00 日本医学会総会産業医セ ッション (Web会議) 15:00 県産婦人科医会春期定時 総会・学術講演会 (Web 会議)
9	日	(県議会議員選挙投票日)			
10	月				
11	火	19:00 第2回全理事協議会 (Web会議) 19:00 県産婦人科医会会計監査	23	日	8:30 (東京) 日本医学会総会
12	水	16:00 支払基金審査運営協議会 19:00 広報委員会	24	月	19:00 県医療審議会 19:00 県プライマリ・ケア研究 会学術広報委員会
13	木	14:00 都道府県医師会広報担当理事連 絡協議会 (Web会議) 19:00 県産婦人科医会合同理事会 (Web 会議)	25	火	18:30 医協理事会 19:00 第1回常任理事協議会 19:00 未来の医療を語るオールみやざ き交流会
14	金	14:00 (日医) 日医勤務医委員会 19:00 第1回新型コロナ位置づけ変更 に伴う医療提供体制等につい ての研修会 (Web会議)	26	水	15:00 労災診療指導委員会
15	土		27	木	13:00 日医財務委員会 (Web会議) 15:00 日医医師年金監査 (Web会議) 19:00 全国学校保健・学校医大会実行 委員会 (Web会議)
16	日				
17	月	19:00 九州厚生局宮崎事務所等との保 険医療機関の指導計画等打合せ	28	金	19:00 第2回新型コロナ位置づけ変更 に伴う医療提供体制等につい ての研修会 (Web会議)
18	火	10:00 日医監事会 11:00 日医役員勉強会 (Web会議)	29	土	(昭和の日)
			30	日	

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和5年3月28日

5			月		
1	月		18	木	19:00 医協会計監査
2	火		19	金	19:00 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会 (Web会議)
3	水	(憲法記念日)			
4	木	(みどりの日)	20	土	14:30 産業医部会総会・研修会 (TV会議)
5	金	(こどもの日)			
6	土		21	日	
7	日		22	月	19:00 在宅医療協議会役員会 (Web会議)
8	月	19:00 県内科医会評議員会 (Web会議)			19:00 広報委員会
9	火	18:30 医協理事会 19:00 医協理事・運営委員合同協議会 (Web会議) 終了後 第3回全理事協議会 (Web会議)	23	火	16:30 都道府県医師会新型コロナウィルス感染症担当理事連絡協議会 (Web会議) 19:00 第2回常任理事協議会
10	水		24	水	16:00 (日医) 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会
11	木	19:00 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)	25	木	19:00 県医監事監査
12	金	14:00 日医年金委員会	26	金	14:00 日医公衆衛生委員会
13	土	15:30 県内科医会総会・学術講演会 (Web会議) 17:00 各郡市医師会(連盟)役員連絡協議会			19:00 県内科医会誌編集委員会 19:00 学校医部会理事・評議員会
14	日	11:00 (福岡) レジナビフェア	27	土	13:30 (三重) 男女共同参画フォーラム
15	月	19:00 広報委員会 19:00 産業医部会理事会 (Web会議)	28	日	12:00 (東京) 全国有床診療所連絡協議会常任理事会 13:30 県小児科医会春季学術講演会
16	火	10:00 (日医) 日医監事会 11:00 (日医) 日医役員勉強会 13:00 (日医) 日医理事打合せ 14:00 (日医) 日医理事会	29	月	
17	火	16:00 支払基金審査運営協議会	30	火	18:15 医協理事会 19:00 医協理事・運営委員合同協議会 終了後 第4回全理事協議会
※都合により、変更になることがあります。 行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。			31	水	15:00 労災診療指導委員会

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となる場合があります。
参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いいたします。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 (Web講習会) 4月6日(木) 19:00～20:00 KITTO小林（会場 視聴は西諸管内の 先生方のみ） ※受講は現地また はWeb	腎臓視点からみた高血圧治療 中津病院 腎臓内科 副部長 血液浄化療法センター長 嶋津 啓二	74 (1.0)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸内科医会 大塚製薬(株) ノバルティスファーマ(株)
第173回宮崎心臓病 研究会 (Web講習会) 4月18日(火) 19:00～20:20 宮崎観光ホテル ※受講は現地また はWeb	心房細動合併冠動脈疾患における抗血栓管理 ～消化管出血を抑えることの重要性～ 宮崎大学医学部 内科学講座 循環器・腎臓内科学分野 教授 海北 幸一 ----- 心不全治療の新たな選択肢 ～sGC刺激薬 ベリキューボの可能性～ 名古屋大学医学系研究科 循環器内科学 教授 室原 豊明	73 (0.5) 73 (0.5)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 バイエル薬品(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
第15回在宅医療推 進のための連携・ スキルアップ研修会 (Web講習会) 4月18日(火) 19:00～20:30 宮崎市郡医師会館 1階講堂 ※受講は現地また はWeb	生活を支援する訪問歯科医療と終末期における多職種 連携 ひとえ歯科クリニック 院長 宇都 仁恵	80 (1.5)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会地域包 括ケア推進センター ☎0985-77-9106

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
西臼杵郡医師会講演会 (Web講習会) 4月20日(木) 19:00～20:00 ホテルグレイトフル高千穂 ※受講は現地またはWeb	不眠症治療の新展開 ～睡眠薬出口戦略のその先を目指して～ 琉球大学医学研究科 精神病態医学講座 准教授 高江洲 義和	20 (1.0)	◇主催 西臼杵郡医師会 ◇共催 ※エーザイ(株) ☎070-8795-1073
令和5年度延岡内科医会総会・学術講演会 (Web講習会) 4月21日(金) 19:00～20:15 エンシティホテル延岡 ※受講は現地またはWeb	COVID19渦でのCOPD/ACOの治療戦略 ～循環器疾患併存も考慮して～ 国際医療福祉大学三田病院 呼吸器内科部長 望月 太一	79 (1.0)	◇主催 延岡内科医会 ◇共催 アストラゼネカ(株) ◇後援 延岡医学会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
令和5年度宮崎県産婦人科医会・産科婦人科学会春期定時総会・学術講演会 (Web講習会) 4月22日(土) 15:00～18:00 県医師会館 ※受講は現地またはWeb	妊娠関連子宮摘出術～Cesarean Hysterectomy～ 福井大学医学系部門 産科婦人科学分野 教授 吉田 好雄	0 (1.0)	◇主催 ※宮崎県産婦人科医会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県産科婦人科学会
第202回宮崎県眼科医会講習会 4月22日(土) 16:00～19:00 KITENビル8階 大会議室 参加費:3,000円	抗VEGF療法のより良い投与レジメンを求めて ～日常診療で見つけた研究の芽をカタチに～ 山口大学医学部附属病院 臨床研究センター 講師 湧田 真紀子 ----- 明日から変わるドライアイ診療 実践TFOD/TFOT 京都府立医科大学 病院教授 横井 則彦	36 (1.0) ----- 36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 参天製薬(株) パリエル薬品(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
西臼杵郡医師会学 術講演会 (Web講習会) 4月25日(火) 19:00～20:00 エンシティホテル 延岡 ※受講はWebのみ	心不全治療に関して(仮) 宮崎県立延岡病院 循環器内科 主任部長 山本 展誉	24 (1.0)	◇主催 西臼杵郡医師会 ◇共催 ※日本ベーリンガー インゲルハイム(株) ☎080-8754-5398
令和5年度宮崎県 小児科医会総会・ 春季学術講演会 5月28日(日) 13:30～17:05 県医師会館	先天性心疾患術後患者と運動 宮崎大学医学部 小児科 兒玉 祥彦	3 (0.5)	◇主催 ※宮崎県小児科医会 ☎0985-23-9100
	川崎病のトピックスと当院における急性期治療の変遷 について 宮崎県立宮崎病院 小児科 中谷 圭吾	28 (0.5)	
	新型コロナウイルス感染症の現状と展望 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 教授 宮崎 泰可	45 (1.0)	
	こども・医療政策の変曲点～2023年～ 日本小児科医会 会長 的場医院 (東京都) 伊藤 隆一	12 (1.0)	
医療安全対策Web セミナー (Web講習会) 6月2日(金) 19:00～20:30 県医師会館 ※受講はWebのみ	医療機関におけるサイバーセキュリティの動向について SOMPOリスクマネジメント(株) 医療・介護コンサルティング部 上級コンサルタント 橋本 勝 他	9 (1.5)	◇主催 ※宮崎県医師協同組合 ☎0985-23-9100 ◇共催 宮崎県医師会

診療メモ



皮膚科外用薬について

くるみ皮膚科 ^か加 ^{しま}嶋 ^あ亜 ^き紀

皮膚科で奥深い外用療法、膨大なテーマですが、どうぞ入門編としてお読みください。親しみやすい商品名で記載します。セルフメディケーションの注意点、ステロイド外用薬をはじめ外用薬を効かせるコツ、ここ数年の新規外用薬についてまとめます。

1. セルフメディケーションとOTC

患者は何らかの「治療」をしたあと受診します。以前は「焼酎」「アロエ」「ヨーチン®」「オロナイン®」でしたが、このごろはステロイドはじめさまざまな自己治療後、元々の皮疹と異なる状態で受診します。OTC外用薬は多岐に渡ります。ヘルペスに対するアラセナ®, 抗真菌薬のエンペシド®, アスタット®, ステロイド外用薬ではリドメックス® (IV群ミディウム), プロパデルム®, リンデロンV® (Ⅲ群ストロング) やステロイド外用薬と抗生剤などの合剤 (フルコートF® など) などです。ていねいに問診し、ステロイドなどでマスクされた病変を想像し診療します。

2. 外用薬を効かせるためのコツ

●副腎皮質ステロイド外用剤

病変の強さに応じてランクを選択します。皮膚萎縮、酒さ様皮膚炎、感染症などの副作用を出さないように症状の改善とともにランクダウンすべきです。ときに「ステロイド外用薬は副作用があるので、よくなったらすぐにやめるよ

うに」指導する薬剤師、看護師がいます。アトピー性皮膚炎など慢性皮膚疾患はいきなり止めると皮膚症状が再燃します。徐々に塗布回数を減らすか、強さをランクダウンし寛解状態を維持するよう配慮します。再燃を繰り返す際にはどうぞ皮膚科受診をご検討ください。

また、ステロイド外用薬には合剤が多数あります。「化膿してなおりにくいときは」「ニキビに」などと市販されているフルコートF®はフラジオマイシンを含むstrongクラスのステロイドです。ベトネベートN® (フラジオマイシン含有), テラ・コートリル® (テトラサイクリン含有) などは、患者は「化膿止め」の認識で外用しています。「リンデロンVG®を処方して」と言われ、「ゲンタマイシンは耐性菌が多く抗生剤の効果は期待できない、フラジオマイシンなどと交差反応があるので、接触皮膚炎のリスクもある」とはなかなか伝えきれません。

●混合について

皮膚科医の中にでも議論が分かれていますが、私は塗る手間を減らしアドヒアランスを上げるため、混合する場合があります。混合にはいくつかの「落とし穴」があり、すべて記述できませんがおおまかな注意点を述べます。

- ① 基剤が「水」と「油」は混合できない。
- ② 3, 4倍に希釈してもその効果、副作用は減弱しない!
- ③ 混ぜてはいけない組みあわせがある!
- ④ 混合すると使用期限が短くなることがある。

⑤ ジェネリックは添加物が先発と異なり、配合できない組み合わせがあり要注意！

基剤には軟膏，クリーム，ローションなどがあります。薬品名からの基剤や剤型の判断ができない外用薬もあり，例えばユベラ®軟膏は「軟膏」ではなく「水中油型クリーム」であり，アクアチム®軟膏は「油中水型クリーム」です。同じ「軟膏」の名前でも混合できません。①～⑤の注意点をなんだか面倒だな，と思われた先生には混合の処方はおススメしません。

●塗布順番，外用量

ステロイドと保湿剤，どちらを先に塗っても効果や副作用に差はありません。大切なのは，「指の1関節分を手掌2枚分の面積へ外用」など適切な量の指導です。

●外用薬のジェネリックについて

基剤中に溶解している主薬濃度，皮膚透過性が異なるものがあり効果が不十分場合があります。先発品には含まれない添加物（例えばクロタミトンなど）による接触皮膚炎の可能性もあり，先発に変更するだけで改善する例もあります。

3. 新規外用薬

「わき汗」「にきび」「酒さ（赤ら顔）」は保険治療の対象です。また，アトピー性皮膚炎には約20年ぶりの新規外用剤ができました。剤型も「ワイプ（シート状）」「泡状スプレー」「シャンプー」など利便性の高い外用薬が増えています。

●わき汗への外用薬 エクロック®ゲル，ラピフオート®ワイプ

原発性腋窩多汗症の外用薬でエクリン汗腺のムスカリンM3受容体に結合し，アセチルコリンの作用を阻害し発汗を押さえます。ワイプは，わきを拭くだけという手軽さです。

●にきびの外用薬 ペピオ，デュアック，エピデュオなど

にきびは「青春のシンボル」ではなく「毛包脂腺系の慢性炎症性疾患」で，よりきれいに治

すことが求められます。重症度に応じ上記などから選択します。毛包漏斗部の角質を剥離するピーリング効果と殺菌作用を併せ持ちます。せっかく他院で処方され，ピーリング効果が出ているのに「あわない，皮が剥けた」と副作用と勘違いする患者が多いです。外用後に起こる変化をていねいに説明し，定期的なフォローアップを要します。

●「酒さ（赤ら顔）」の外用薬 ロゼックス®ゲル
メトロニタゾールが有効成分で，2022年から適応になりました。

●アトピー性皮膚炎に対して 約20年ぶりの新薬2剤コレクチム®，モイゼルト®

○コレクチム®軟膏

JAK/STAT経路がTh2型炎症反応の促進，皮膚バリアの機能低下，掻痒の惹起に関わるようです。コレクチム®軟膏はJAK阻害薬で，6か月以上の小児から投与可能，バリア機能の改善に期待ができます。

○モイゼルト®軟膏

PDE4阻害作用により，炎症細胞の細胞内cAMP濃度を高め種々のサイトカインおよびケモカインの産生を制御します。2歳以上に中等症以下に適応です。

●剤型が新しい薬 シャンプー剤，フォーム剤
○コムクロ®シャンプー

ステロイド外用薬なのですが，シャンプーのように短時間のみ外用するショートコンタクトセラピーで副作用の軽減にも期待できます。

○ドボベット®フォーム

ステロイドとビタミンD3の混合薬の泡状スプレーで，頭皮や広範囲の尋常性乾癬に処方します。

ちょっと外用を，という際に先生方のお役に立てれば幸いです。外用療法は，目の前の患者の経過を患者と一緒に確認できる興味深い治療です。私もこれからも研鑽を積んでまいります。

宮大医学部学生のページ



医師国家試験と国試対策委員会の活動

宮崎大学医学部 医学科6年 ^あ阿 ^{まん}萬 ^{たつ}樹 ^き生

今年度の国試対策委員長を務めさせていただきました。阿萬樹生と申します。大変僥越ではございますが、私たち国試対策委員会が1年間活動してきた内容をふまえ、医師国家試験の現状と国試対策委員会の活動内容についてご紹介させていただきます。

先日、2月4日と5日の2日間にわたり、第117回医師国家試験が実施されました。今年度は昨年度に比べて問題形式に大きな変更点はなく、昨年同様、新型コロナウイルス感染症に対する感染対策（抗原検査陽性者の受験不可、濃厚接触者の別室受験、会場入場前のサーモグラフィによる検温実施など）が行われました。昨年の宮崎大学の国家試験合格率は新卒と既卒合わせて88.8%であり、一昨年や一昨々年に比べると減少傾向でした（第114回は過去10年で最高の92.1%）。年々の難化傾向と合格率低下に恐れていた受験生も多く、国家試験に向けて1年かけてしっかりと対策していた印象でした。今年（第117回）の結果が先日発表され、今年の宮崎大学の合格率は92.3%と過去10年で最高の合格率となりました。私としてもこの結果は大変嬉しく思います。来年も今年と比較したときに見劣りしないような結果が残せるよう努力する所存です。

国家試験に対する受験生個人の対策としては、例年の受験生と同じように国家試験予備校の映像授業や、国試過去問の問題集を用いた学習が多かったようです。国家試験の模擬試験に関しては、大変ありがたいことに大学の同窓会（篠懸会）から計6回分の援助をいただいております、全員が最低6回受験することができ、実践的な問題演習も十分に組み合わせていたように思えます。

また、今年度も前年度の受験生と同様に5年生の秋に到達度試験が実施されました。この宮崎大学独自の制度により、早い段階で国家試験に向けての勉強を開始することができ、実際に多くの受験生からもご好評をいただいているため、非常に大きなメリットであると感じております。しかし、逆に6年時に卒業試験がないことがデメリットになるのではというような声もあるため、卒業試験がないことがマイナスにならないよう、実習が終わった6年生を対象に先生方からはレビュー講義などで受験生のサポートをしていただいております。

続きましては、今年度の国試対策委員会の活動についてです。国試対策委員会は医学科3年～5年、各学年4名ずつの計12名で構成されております。5年生が幹部学年となっており、委員長・副委員長・会計・模試係の役職に就き、下

級生の協力のもと、国家試験中の受験生のサポートや模試の運営、各予備校や人材関係の会社との窓口といった仕事を主として行います。国家試験期間中の活動内容は、交通・宿泊の手配、現地の自習室の管理、試験会場までのバスの手配および添乗、昼食の手配、緊急時の対応などを行っております。行きの飛行機やホテルは1年前から予約をするなど長い期間をかけて準備を行いますが、当日や直前期の体調面・精神面など私たちだけではサポートできない面は、先生方からご尽力賜ることも多々あります。そのほか、九州・山口圏内の各大学の国試対策委員会が集まる会議に出席し、CBT（Computer Based Testing）や国家試験、実習に関する議題を共有・議論し、各大学と協力しながら活動の改善を図っております。今年度も昨年同様、すべてオンライン上での開催であったため、思うように話し合いができなかったことが心残りです。医師国家試験についてはCBTと同様のコン

ピュータ制の導入や禁忌肢の取り扱い方の変更などが医道審議会で議論されているため、それらについても今後話し合いが必要で、対策していくべき課題であると言えます。

最後に、今年度の国試対策委員会の活動に際して、大学の教務委員長や医療人育成課の方々をはじめとして大変多くの関係者の方々にご協力をいただいたことで、この1年間の活動を完遂でき、受験生も無事に受験を終えることができたと思っております。私たちに関わってくださったすべての方々に深謝申し上げます。国試対策という面ではまだまだ発展途上ではありますが、受験生が少しでもストレスを感じることなく安心して受験できるよう、また、先生方や地域の方々により報告ができるよう、委員一同精進していく所存でございますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

長文となりましたが、最後までご高覧いただき誠にありがとうございました。



第117回医師国家試験に帯同した国試対策委員一同（4,5年生計8名）

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。か、所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
2月28日	・「広告が可能な医師等の専門性に関する資格名等について」の一部改正について ・日医君LINEスタンプ無料配布に関する周知へのご協力をお願い ・「健康スポーツ医学実践ガイド：多職種連携のすゝめ」刊行記念 健康スポーツ医と運動指導者の多職種連携推進講演会の開催について ・特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法に基づく給付金制度の周知・広報のためのリーフレット等の送付等について ・令和3年度介護報酬改定に関する通知等の送付について（その10） ・おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査への協力依頼について（送付） ・「第2回ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種に関する相談支援・医療体制強化のための地域ブロック拠点病院整備事業」接種医療機関向け研修会オンデマンド配信のご案内（通知） ・新型コロナウイルス感染症の罹患後症状に悩む方の診療をしている医療機関の選定及び公表等について ・地域医療構想調整会議における検討状況等の確認について（令和4年度その2）
3月3日	・トルコ・シリア地震への医療支援について（お願い） ・サル痘への対応に係るLC16ワクチン接種に関する医療法上の取扱いについて ・「使用上の注意」の改訂について ・院内感染対策サーベイランス事業（JANIS）に係る医療機関の参加要件について ・今後の新型コロナワクチン接種について（その3） ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・リンヴォック錠7.5mg及び同錠15mgの医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について ・公知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて ・令和5年3月以降の東日本大震災による被災者に係る一部負担金等の取扱いについて ・新型コロナウイルス感染症の感染防止に配慮して通いの場等の取組を実施するための留意事項について（その3） ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症への変更後の発熱外来診療体制の維持・充実に向けて（協力要請） ・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ゾコーバ錠125mg）の使用にあたっての注意喚起に係る追加の情報提供について ・HPKIセカンド電子証明書の申請受付および医師資格証WEB申請サービスの開始について ・令和4年度地域医療介護総合確保基金（介護分）の内示について（3回目） ・医薬品の投与に関連する避妊の必要性等に関するガイダンスについて

送付日	文 書 名
3月7日	・経済産業省による省エネルギー投資促進支援事業補助金及び省エネルギー診断事業について（情報提供） ・HPVワクチンの接種に係る医療機関向け研修会の動画配信について ・ロナプリーブ注射液セット300及び同注射液セット1332の使用期限の取扱いについて（通知） ・「ロナプリーブ注射液セット300及び同注射液セット1332の使用期限の取扱いについて」の一部訂正について（通知） ・ゼビュディ点滴静注液500mgの使用期限の取扱いについて（通知） ・新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬「チキサゲビマブ及びシルガビマブ」の医療機関への配分について（別紙及び質疑応答集の修正） ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後に備えた患者の発生動向等の把握の準備について ・新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬の医療機関への配分について（別紙及び質疑応答集の修正）（通知） ・「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン」の改正について（周知）
3月10日	・出産費用等の分かりやすい公表について ・令和5年度における外来データ提出加算等の取扱いについて ・医師法に基づく2年に一度の医師の届出について（再周知のお願い） ・材料価格基準の一部改正等について ・医療情報・システム基盤整備体制充実加算のオンライン請求要件に係る特例措置の受付について ・電子処方箋に関するオンライン説明会の実施等について ・令和4年度障がい者虐待防止・権利擁護研修の実施について（依頼） ・都道府県における今後の外来機能報告制度の運用等について ・宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防事業（令和4年度実績）に係る調査について（依頼） ・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ゾコーバ錠125mg）の使用にあたっての注意喚起に係る追加の情報提供 ・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ゾコーバ錠125mg）の医療機関及び薬局への配分について（一部改正） ・沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ（セービン株）混合ワクチン等に係る「使用上の注意」の改訂について ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後における患者発生動向等の把握に向けた調査の実施について ・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（パキロビッドパック）の医療機関及び薬局への配分について（別紙、質疑応答集の改正）
3月14日	・日本医師会説明動画（医学生・研修医向け）限定公開URLについて ・「東日本大震災の被災者の一部負担金等免除証明書の取扱い等について」の一部改正について ・令和5年度団体契約を通じた電話医療通訳の利用促進事業実施団体の公募について ・令和5年「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」の実施について

送付日	文 書 名
3月14日	・一人親方リーフレットの周知に向けたご協力をお願い ・令和5年度COVID-19JMATの登録および損害保険について ・厚生労働大臣が定める介護支援専門員等に係る研修の基準等の一部改正告示について ・新型コロナウイルス感染症対策 医療機関向けガイドラインの改訂および医療機関等におけるマスク着用のお願いポスターについて ・厚生労働省関係省令第三条の規定による改正前の予防接種実施規則の一部を改正する省令の公布について ・新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いにおける初診からの電話や情報通信機器を用いた診療に係る要件の遵守の徹底及び実施状況の報告について（周知） ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施について（指示）」の一部改正について（通知） ・乳幼児（6か月歳から4歳）用のオリジナル株（1価）ファイザー社ワクチンの配分等について ・小児（5歳から11歳）用のオリジナル株（1価）ファイザー社ワクチンの配分等について ・小児の新型コロナウイルスワクチン接種の体制整備に係る医療用物資の配布について ・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ゾコーバ錠125mg）の医療機関及び薬局への配分について ・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ゾコーバ錠125mg）の薬価収載に伴う医療機関及び薬局への配分等について（通知） ・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（パキロビッドパック）の薬価収載に伴う医療機関及び薬局への配分等について（通知） ・コロナ患者受入病床における通常医療との両立について（通知） ・武田社ワクチン（ノバボックス）の配分等について（その7） ・モデルナ社のオミクロン株対応ワクチンの配送等について（その2） ・B.1.1.529系統（オミクロン株）が主流である間の当該株の特徴を踏まえた感染者の発生場所毎の濃厚接触者の特定及び行動制限並びに積極的疫学調査の実施について（一部改正） ・ファイザー社2価ワクチン（BA.4/5）の保有状況の結果報告について（通知） ・今後の新型コロナワクチン接種について（その4） ・「介護職員処遇改善加算、介護職員等特定処遇改善加算及び介護職員等ベースアップ等支援加算に関する基本的考え方並びに事務処理手順及び様式例の提示について」の一部改正等について ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」（自治体向け）の改訂について（15版） ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き」の改訂について（11版）
3月17日	・独立行政法人福祉医療機構による新型コロナウイルス対応支援資金の令和5年4月以降の融資条件について（情報提供） ・令和5年度スポーツによる地域活性推進事業 ・公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて ・令和4年度診療報酬改定において経過措置を設けた施設基準の取扱いについて

送付日	文 書 名
3月17日	・国民生活センター「医師からの事故情報受付窓口」の周知について ・後発医薬品の出荷停止等を踏まえた診療報酬上の臨時的な取扱いについて ・障害者の雇用の促進等に関する法律施行令及び身体障害者補助犬法施行令の一部を改正する政令等の公布について ・融雪出水期における防災態勢の強化について ・令和4年度全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議資料について ・「身元引受人がないウクライナ避難民に係る介護保険における保険料及び利用者負担の財政支援の再延長について」の送付について ・東日本大震災により被災した被保険者の利用者負担等の減免措置に対する財政支援の延長等について ・新型コロナワクチン接種後の副反応を疑う症状に関する研究への協力について（再依頼） ・新型コロナワクチンの接種に伴い副反応を疑う症状が生じた者への対応について（再周知） ・サージカルマスクの国備蓄品の売却について
3月20日	・計画停電に伴う診療停止について（第1報） ・医療法施行規則の一部を改正する省令について ・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う医療提供体制の構築について ・令和5年度の病床確保料の取扱いについて ・9価HPVワクチン定期接種化に関するリーフレット作成及び改訂について ・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（パキロビッドパック）の薬価収載に伴う医療機関及び薬局への配分等について（その2）（通知） ・「病原微生物検出情報」の送付について ・保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）（2022（令和4）年10月一部改訂）の一部修正について（その2）
3月24日	・医療事故の再発防止に向けた提言第17号の公表について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その42）」の送付について ・生活保護の医療扶助における医薬品の適正使用の推進について ・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について（令和5年度薬価改定） ・高齢者施設等におけるオミクロン株に対応した新型コロナワクチン接種進捗状況の実態調査②の結果について ・新型コロナウイルス感染症の発生に伴う定期の予防接種の実施に係る対応について（再周知） ・文部科学省発出「『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル（2023年4月1日ver.9）』の周知について（依頼）」および「新学期以降の学校におけるマスク着用の考え方を見直し等について」の送付について ・医療法施行規則の一部を改正する省令について ・「精神保健指定医の新規申請等に係る事務取扱要領の制定について」の一部改正について ・「手術前等に行われる肝炎ウイルス検査の結果を踏まえた受診・受療・フォローアップの推進等の医療機関管理者への協力依頼」について（周知依頼） ・マイナンバーカードの取得、健康保険証利用申込及び公金受取口座登録の促進について（周知依頼）

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryoku-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真，その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介，読みどころ，執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真，書物の表紙写真

■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」，新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する，カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■原稿の趣旨を変えない範囲で，日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただく場合があります。

■日州医事は，各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には，修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ，法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など，他の団体，個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など，特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し，法律で禁止されている行為など，その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認，難解，過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

あとかき



べてきた麺が柔らかい宮崎のうどんに慣れていた私には、香川名物の讃岐うどんのようにコシのあるうどんがとても新鮮でした。また、香川には醤油うどんというものがある、これはうどんに醤油を直接かけて食べるものでした。あまりにもシンプルで、最初は本当に美味しく食べれるのだろうかと思いましたが、讃岐うどんのコシとうどん本来のおいしさが際立っていて、醤油だけの味付けでここまで美味しく食べられるうどんに感動しました。ここまで香川のうどんについて熱く語ってきましたが、香川県に行った際にもう一つすることがあります。それは、「こんびらさん」の呼び名で親しまれている金刀比羅宮の1,368段の階段を上り、頂上まで行ってお参りすることです。ご利益があるだけでなく、お腹もすいて一石二鳥です。1,368段は思っているよりも厳しい道のりなので、挑戦される方は必ず棒をレンタルすることをおすすめします。香川に行きたい気持ちが高まってきたところですが、今年の春は実習で香川には行けそうにないので宮崎にある丸亀製麺で我慢しようと思います。

(山本)

* * *

WBCでの日本チームの優勝は久しぶりに素晴らしいNEWSでした。しかし最近、誇るべき経歴もなく、実力も煌めく個性も持ち合わせていないのに自己承認欲求ばかり強いくだらない輩のくだらないSNSのNEWSばかりでイヤになります。こちらは温厚篤実に謙虚に、細心の注意を払って生きている(つもり)というのに。SNS運営会社は犯罪動画をチェックして見つけ次第警察へ連絡するべきでしょう。また被害金額の半分はSNS運営会社に請求できるようにならないものなのでしょうか。

(菊池)

* * *

WBC優勝おめでとうございます！準決勝では、佐々木が3回に3ランを打たれ、重苦しい雰囲気の中7回に吉田の起死回生の同点3ラン。投手陣も耐え、最終回は大谷の強烈長打、そして大谷の渾身の雄叫びで鼓舞され、苦しみ抜いた村上が逆転サヨナラ。決勝は、投手陣の素晴らしい活躍により、アメリカ打線を2点に抑えた。打線も沈黙を許さず、村上と岡本のHRでなんとか3点を奪取。8回にはダルビッシュ、最終回は大谷の三振で締めくくり、まるで漫画やアニメを見ているかのような展開でした。ただただ感動し、痺れました。侍ジャパンありがとう！

(植田)

* * *

専門医更新手続きのため、参加した学会や講習会を振り返りました。コロナ禍でオンライン開催が増えましたが、移動を気にしなくてよいので遠方の会も参加しやすくなりました。メモや資料を気兼ねなく広げられるのもいいと思います。一方で現地参加でしか得られない気づきも貴重です。運営が大変でしょうが、コロナが落ちついた後もハイブリッド開催を持続していただけると嬉しいです。

(横山)

私には、春になると行きたくなる場所があります。それは香川県です。生まれも育ちも宮崎ですが、5年前の春に初めて香川県で食べたうどんがあまりにも美味しかったことがきっかけとなり、それからほぼ毎年のように春になると、うどんを食べに香川県に行っています。香川で初めてうどんを食べたときに驚いたのは宮崎のうどんとの違いです。小さいころから食

3月中旬の現在スギ花粉の飛散がようやく少なくなり、ヒノキ花粉に移行しつつあります。今年は数年に一度の大量飛散で、新たに花粉症を発症した方も多かったようです。昨年は、飛散も少なくあまり混乱ありませんでしたが、本年は新型コロナ・インフルエンザ患者の減少と入れ替わるように患者数が増え、ようやく一息ついた感じです。マスク着用義務の緩和で、今後はマスクから開放される場面も増えてくると思いますが、少なくとも花粉の時期はマスクが手放せなさそうです。

(長井)

* * *

日州医事の広報委員としての仕事は今回で最後となりました。2年間の任期は思い返してみればあっという間で、右も左もわからなかった初回の委員会を懐かしく思い出します。他の委員の先生方や、医師会の職員の皆さんとお話をする中で、大学で実習しているだけでは気付かなかった視点をたくさん学ぶことができました。また、文章や出版物に関する仕事に対する憧れも昔からあったので、こういった形で経験できたことは非常に幸運でした。広報委員会でお世話になった皆さんにこの場を借りてお礼申し上げます。

(平井)

* * *

先日、平成中村座の福岡公演を観る機会がありました。この歳になって初めての歌舞伎の観賞です。知識はないので十分に理解はできませんでしたが、長唄囃子に合わせ美しい着物をまとうて舞う姿に、優美な日本文化を感じることはできました。(佐々木)

今月のトピックス

日州医談 かかりつけ医は、国民皆保険制度の根幹

かかりつけ医制度について宮崎県医師会の金丸吉昌常任理事に解説していただきました。患者の利便性をうたう方向性はいいのですが、国の頭には医療費抑制を企図した登録制や認定制、将来的には仏国のような家庭医制度、人頭報酬制度がありそうで、医師会には注意深く目配りをお願いしたいところです。 4 ページ

身近なお困りごと相談室 第19回 未払い診療費の回収について

治療費滞納は確かに増えているようです。入院、手術など高額なものでは経営に与える影響も大きく、また金銭的な問題だけではなく、精神的にも萎えさせられるものです。飲食店などでこれをやると、即、お縄になりますが、医療機関ではそうならないと踏んでいる人もいて、結局泣き寝入りするしかないことも少なくないのが現状だと思います。 10ページ

診療メモ 皮膚科外用薬について

皮膚科外用薬についてくるみ皮膚科の加嶋亜紀先生に教えていただきました。ステロイドなど、日常診療でよく使用するものから新規薬まで、幅広く、分かりやすく教えていただきました。明日からの診療に使わせていただきます。ありがとうございました。 52ページ

宮大医学部学生のページ 医師国家試験と国試対策委員会の活動

第117回医師国家試験について宮崎大学医学部6年生の阿萬樹生さんからの報告です。約25年前、自分も受けましたが、当時はCBTなどもなく、実習も授業もおおらかでしたので、遊びほうけてしまい、5年生の終わりに初めて国試の過去問をみて、その難しさに背筋が凍る思いになったことを思い出しました。今回は過去10年で最高の合格率92.3%を達成されたそうで、合格された皆様、おめでとうございます。 54ページ

日 州 医 事 第884号 (令和5年4月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
http://www.miyazaki.med.or.jp/ E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 稲倉 琢也

副 委 員 長 菊池 英維

委 員 植田 雄一、高橋 典子、石田 康行、
長井 慎成、早川 学、横山 晃子

学 生 委 員 平井 昂也、安藤菜々子、鍛冶川雄登、山本 樹

担当副会長 山村 善教

担 当 理 事 荒木 早苗、高木 純一、佐々木 究

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介、牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)